

横浜市立みなと赤十字病院

平成21年度事業計画書

平成20年10月31日

計画書 内容	頁
I 医療提供計画書	
1 政策的医療への取組	1
(1) 緩和ケア医療	2
(2) 障害児者合併症医療	3
(3) 災害時医療・市民の健康危機への対応	4
(4) アレルギー疾患医療	6
(5) 精神科救急医療	7
(6) 精神科合併症医療	8
2 地域医療連携	9
(1) 紹介率・逆紹介率の推移	10
(2) 連携を進める関連病院	10
(3) 地域医療機関との交流等	10
3 地域医療の質向上	12
(1) 治験・受託研究に関するもの	13
(2) 患者・市民に対する相談・啓発活動	14
(3) 市民委員会の開催	15
(4) カルテ開示	16
(5) 医療倫理委員会の開催	17
4 病院管理	18
(1) 安全管理に関する計画	19
(2) 災害対策に関する計画	20
(3) 患者サービスに関する計画	21
5 職員等研修	22
(1) 院内職員研修計画	23
(2) 院外学生等研修計画	25
(3) 臨床研修プログラム	27
6 外部委託	28
(1) 外部委託業務	29
7 情報管理	30
(1) 管理責任体制・安全対策等	31
8 職員	35
(1) 組織図・職員配置予定数	36
(2) 診療科責任体制	38
(3) 看護責任体制	39
(4) 中央部門責任体制	40
(5) 管理部門責任体制	41
II 施設管理計画書	
9 医療機器等の整備計画	42
(1) 医療機器等の整備計画	43
10 施設管理	44
(1) 施設・設備改修計画	45
(2) 施設・設備管理計画	46
11 経営計画	48
(1) 科別患者数	49
(2) 科別患者数（中期経営計画）	51
(3) 科別患者一人当たり収入	53
(4) 科別患者一人当たり収入（中期経営計画）	55
(5) 中央部門業務計画	58
(6) 損益計算書（中期経営計画）	61
(7) 損益計算書資本的収支（中期経営計画）	62
(8) 手術件数（中期経営計画）	63
(9) 出産件数（中期経営計画）	64

I 医療提供計画書

「1 政策的医療への取組」

(1) 緩和ケア医療

(人員体制)

(2) 障害児者合併症医療

(人員体制)

(3) 災害時医療・市民の健康危機への対応

(責任体制・備蓄資材の状況・実際の取組)

(4) アレルギー疾患医療

(5) 精神科救急医療

(6) 精神科合併症医療

1 政策的医療への取組

(1) 緩和ケア医療

ア 概要

病床数

- 25床 全個室
- 特別個室 12床
- 無料個室 13床

入院対象

- 1 がんなどの悪性疾患で終末期（余命6ヶ月以内）にある方
- 2 患者と家族が病名やまたは病状を理解して緩和ケアの入棟を希望する方
- 3 症状が悪化し在宅での生活が困難になった方
- 4 入院対象にある疾患でかつ在宅で過ごしている方で、家族の休息のための短期入院を希望する場合

入院までの手続き

- 1 電話で外来の予約（必要書類を自宅へ郵送）
- 2 必要書類を準備し、外来受診（家族の代理受診可）
- 3 病棟内での判定会議後、待機状況について連絡
- 4 入院決定したら連絡

緩和ケア病棟の役割

- 1 横浜市民のための緩和ケアの提供
- 2 症状緩和を中心とした医療提供
- 3 在宅生活や介護生活の疲労の軽減
- 4 終末期の安心で安寧な生活の提供
- 5 地域と連携し在宅療養を支援

イ 緩和ケアチームの取組

構成メンバー

専従緩和ケア医師	1名
精神科医師	1名
専従看護師	1名
薬剤師	1名

一般病棟で緩和ケアを必要とするがん患者に、疼痛をメインとした症状コントロールと精神的な支援を多職種と協働しながら提供する。

ウ 人員体制

職種	氏名
責任医師	藤井 由貴
師長	1人
看護師人数	20人（非常勤含む）
助手人数	1人
クラーク人数	1人

(2) 障害児者合併症医療

ア 概要

昨年度までの実績に基づき、下記のように計画しております。

○外来通院患者10～15例程度（月1～2回程度）

○入院患者延べ総数40例程度

入院日数 延べ500～800日（1日平均2.2人）

〈入院の内訳〉

緊急医療入院 30例程度

…(肺炎・気管支炎、尿路感染症、胃腸炎・経口摂取不良、喘息、痙攣など)

予定入院 10～15例程度

…(検査目的、検査+栄養チューブ交換目的、悪性腫瘍、手術目的など)

イ 人員体制

職種	氏名
責任医師	川野 豊
担当医師	由井 崇子
連携医師	各診療科代表
コメディカル	各部門代表
看護師（病棟師長）	1人
看護師	1人
事務	1人
医療ソーシャルワーカー	2人

(3) 災害時医療・市民の健康危機への対応

ア 責任体制（中央体制のみ）

職種	所属	役割
医師	病院長	災害対策本部長
医師	副院長	災害対策副本部長
医師	医療社会事業部長	災害対策本部要員
看護師	看護部長	災害対策本部要員
看護師	看護副部長	災害対策本部要員
看護師	看護副部長	災害対策本部要員
事務	事務部長	災害対策本部要員
事務	赤十字事業推進課長	災害対策本部要員

医師	第2外科部長	救護員指導者
看護師	看護師長	救護員指導者

医師	外科医師	第1救護班長
医師	耳鼻咽喉科医師	第2救護班長
医師	泌尿器科医師	第3救護班長
医師	循環器科医師	第4救護班長
医師	内科医師	第5救護班長
医師	整形外科副部長	第6救護班長
医師	脳神経外科部長	第7救護班長

イ 備蓄資材の状況

1 災害時用緊急資材(*)一覧		
○救急車 2 台	○救援車1台	○原付バイク1台
○医療救護セット 2 組	○携帯型医療救護セット 2 組	○医救セット置き台1組
○折りたたみリアカー	○NBC災害除染セット 1セット	○エアーテント1式
○クイックテント 3	○担架 8	○担架置き台 6 組
○簡易トイレ 1 6	○簡易トイレ用テント1	○ポータブル吸引機
○レサシテーター 2	○エアーテント用クーラー 1	○マルチレーター
○携帯発電器 3	○衛星携帯電話 1	○業務用無線機
○小電力無線機	○車載用折り畳み台車 1台	○台車 4 台
○メディラップ 5 0 枚	○簡易ベット1 0 0	

※この他に救護班用団体装備、個人装備等多数あり

(*)通常診療用とは別に確保してある資器材
健康福祉局からの依頼備蓄薬品等を除く

ウ 実際の取組

災害対応・市民健康危機への行動（実績）
地区災害医療拠点訓練への協力
救急員養成講習会の開催
防災ボランティアの養成

(4) アレルギー疾患医療

ア アレルギー・免疫疾患診療

アレルギーセンター運営委員会による調整のもとに、9診療科（喘息アレルギー科、小児科、皮膚科、呼吸器科、耳鼻咽喉科、眼科、リウマチ・膠原病科、精神科、リハビリテーション科）によるアレルギー疾患のチーム医療を継続する。

平成19年度より定期開催中の、複数診療科による喘息カンファレンスおよび食物アレルギーカンファレンスを継続し、診療科間の連携を維持する。

平成19年度に開始した喘息アレルギー科医師と中区開業医を中心とした病診連携の勉強会を継続する。

平成21年度中に横浜市立大学附属市民総合医療センター呼吸器内科と共に中区・南区開業医との連携を目的とした地域連携パスミーティングを立ち上げる。

イ アレルギー相談・情報提供

患者・市民へのアレルギー関連資料の自由閲覧、専門医によるセカンドオピニオン外来、センターコメディカルスタッフによる簡易相談を継続する。

横浜市健康福祉局保健政策課からの受託事業としての喘息相談を継続する。

ウ 情報発信

アレルギーセンターホームページのさらなる充実を図り、当センター機能の情報公開を継続する。具体的には、センターの診療機能、セカンドオピニオン外来等に関する情報の随時更新と、気管支喘息・花粉症患者など慢性アレルギー疾患の自己管理を目的とした粉塵・花粉・気象観測データのリアルタイムでのホームページ公開を継続する。

エ 啓発活動

平成20年度は、一般市民を対象としたアレルギー市民公開講座を2回（9月6日実施、2月11日予定）、当院職員及び地域登録医を対象としたアレルギー勉強会を3回（7月17日実施、10月30日、12月4日に予定）、横浜市全体の医療従事者を対象とした「みなと日赤アレルギー・免疫講演会」を2回（5月22日、10月2日実施）。21年度からもこれらを定期的に継続する。

通院患者を対象とした年3回の「成人・小児喘息教室」および年4回の「関節リウマチ教室」を継続する。

オ 免疫・アレルギー対策プロジェクト

アレルギー疾患患者データベースを中心に据えた各プロジェクトを下記の如く継続する。

市内6施設での粉塵・花粉・気象観測データ解析によるアレルギー疾患の増悪予防に関する研究（高知大学病院医療情報部との共同研究）を継続する。

「化学物質過敏症」診断を目的とした「負荷検査システム」を用いた同疾患の臨床研究を継続し、病態解析と治療法開発に努める。

喘息死亡ゼロを目的とした、携帯電話による気管支喘息の遠隔医療システムを3キャリア対応で継続する。

(4) アレルギー疾患医療

ア アレルギー・免疫疾患診療

アレルギーセンター運営委員会による調整のもとに、9診療科（喘息アレルギー科、小児科、皮膚科、呼吸器科、耳鼻咽喉科、眼科、リウマチ・膠原病科、精神科、リハビリテーション科）によるアレルギー疾患のチーム医療を継続する。

平成19年度より定期開催中の、複数診療科による喘息カンファレンスおよび食物アレルギーカンファレンスを継続し、診療科間の連携を維持する。

平成19年度に開始した喘息アレルギー科医師と中区開業医を中心とした病診連携の勉強会を継続する。

平成21年度中に横浜市立大学附属市民総合医療センター呼吸器内科と共に中区・南区開業医との連携を目的とした地域連携パスミーティングを立ち上げる。

イ アレルギー相談・情報提供

患者・市民へのアレルギー関連資料の自由閲覧、専門医によるセカンドオピニオン外来、センターコメディカルスタッフによる簡易相談を継続する。

横浜市健康福祉局保健政策課からの受託事業としての喘息相談を継続する。

ウ 情報発信

アレルギーセンターホームページのさらなる充実を図り、当センター機能の情報公開を継続する。具体的には、センターの診療機能、セカンドオピニオン外来等に関する情報の随時更新と、気管支喘息・花粉症患者など慢性アレルギー疾患の自己管理を目的とした粉塵・花粉・気象観測データのリアルタイムでのホームページ公開を継続する。

エ 啓発活動

平成20年度は、一般市民を対象としたアレルギー市民公開講座を2回（9月6日実施、2月11日予定）、当院職員及び地域登録医を対象としたアレルギー勉強会を3回（7月17日実施、10月30日、12月4日に予定）、横浜市全体の医療従事者を対象とした「みなと日赤アレルギー・免疫講演会」を2回（5月22日、10月2日実施）。21年度からもこれらを定期的に継続する。

通院患者を対象とした年3回の「成人・小児喘息教室」および年4回の「関節リウマチ教室」を継続する。

オ 免疫・アレルギー対策プロジェクト

アレルギー疾患患者データベースを中心に据えた各プロジェクトを下記の如く継続する。

市内6施設での粉塵・花粉・気象観測データ解析によるアレルギー疾患の増悪予防に関する研究（高知大学病院医療情報部との共同研究）を継続する。

「化学物質過敏症」診断を目的とした「負荷検査システム」を用いた同疾患の臨床研究を継続し、病態解析と治療法開発に努める。

喘息死亡ゼロを目的とした、携帯電話による気管支喘息の遠隔医療システムを3キャリア対応で継続する。

(5) 精神科救急医療

ア 精神科救急医療の概要

- ・対象患者は、自傷あるいは他害の恐れがある患者
- ・警察官あるいは横浜市職員が同伴して受診
- ・受入時間 平日（深夜当番日除く） 17：00～22：00
- ・休日（深夜当番日除く） 8：30～22：00
- ・深夜当番日（毎週水・月曜日） 平日 17：00～翌8：30
休日 8：30～翌8：30
- ・身体合併症システムとは異なる

イ 人員体制

職種	氏名・人数
責任医師	石束 嘉和
医師総数	6 人
うち精神保健法指定医	3 人
師長	1 人
看護師総数	24 人
1日あたり夜勤看護師数	4 人
精神保健福祉士人数	1 人 専任・兼任
その他人数	3 人

ウ 平成19年度 精神科救急医療実績（平成19年10月開始）

二次救急患者数	診察のみ	0 人
	入院患者数	4 人
三次救急患者数	措置診察のみ	2 人
	措置入院	11 人
	医療保護入院	2 人
平均在院日数		20 日
転帰内訳	転院	14 人
	在宅	3 人
	その他	0 人

(6) 精神科身体合併症医療

ア 横浜市身体合併症システムの概要

- ・横浜市との協定事項である政策的医療の一つ
- ・市内では当院が初の試み
- ・対象患者は、県内の精神病院に入院中の患者
- ・入院目的は身体疾患治療
- ・入退院には横浜市が介在し調整
- ・受入は平日昼間

イ 平成19年度 精神科身体合併症医療実績 (平成19年6月開始)

受入患者数		44人
受入医療機関数		14病院
入院患者数		41人
平均在院日数		23日
転帰内訳	元の病院への転院	35人
	元の病院以外への転院	2人
	在宅	2人
	その他	2人

I 医療提供計画書

「2 地域医療連携」

(1) 紹介率・逆紹介率の推移

(2) 連携を進める関連病院

(3) 地域医療機関との交流等

2 地域医療連携

(1) 紹介率・逆紹介率の推移

	20年度	21年度	22年度	23年度
紹介率の推移 (%)	65	70	80	80
逆紹介率の推移 (%)	35	35	40	40

(2) 連携を進める関連病院

- ア 登録医
- イ 横浜南部保健医療圏（中・南・磯子・金沢・港南・栄・西区の医療機関）
- ウ 地域医療連携パス連携保険医療機関

(3) 地域医療機関との交流等

- ア 当院主催等
 - (ア) みなとセミナー
当院診療科、薬剤部、看護部、医療技術部および各委員会等の主催により、登録医をはじめ地域医療機関の医師および医療職を対象に開催する研究会や勉強会。
 - (イ) 3区(中・磯子・南区)医師会・みなと赤十字病院合同研究会
当院と当院への紹介の6割をしめる中区・磯子区・南区医師会員との合同症例検討会。
 - (ウ) 横浜市各区医師会・みなと赤十字病院医療連携交流会
横浜市の各区医師会主催による当院医師との医療連携推進交流会。
 - (エ) 地域医療連携支援委員会
医療法施行規則第九条の十九による委員会。地域における医療の確保のために当該業務が適切に行われるために必要な事項を審議し、病院管理者に意見を述べる委員会。
 - (オ) 地域医療連携パス全体会議(大腿骨頸部骨折地域医療連携パス)
当院が計画管理病院となり、連携保険医療機関と連携する大腿骨頸部骨折地域医療連携パス。
- イ 他医療機関主催の交流事業への参加
 - (ア) Breast Conference in Kanagawa
県内の各医療施設の乳がんの専門医による研究会
 - (イ) 横浜外科医会
横浜市医師会の横浜外科医会主催による研究会。
 - (ウ) 横浜南西部泌尿器科病診連携医会
横浜南西部の診療所の先生と当院泌尿器科医師との臨床研究を行っている。
 - (エ) 中区小児科医会
中区の小児科開業医と社会保険横浜中央病院と当院小児科医師による研究会で、輪番で行う。講師を招いた講演会や情報交換等を行っている。
 - (オ) 横浜放射線治療懇話会
横浜市を中心として放射線領域における治療の最新情報の話題について発表・討議し、医療技術の進歩を図る。年4回を予定している。
 - (カ) 神奈川県総合病院精神科連絡会

神奈川県における総合病院内の精神科の連携の会で横浜市大病院、横浜市立市民病院、けいゆう病院、横浜南共済病院、湘南病院、当院などにより構成されている。

(キ) 神奈川口腔外科の会

神奈川県の口腔外科を持つ病院の口腔外科が集まり、情報の交換および教育講演の開催。

(ク) 横浜脳卒中懇話会(脳卒中地域医療連携パス)

横浜市立大学神経内科を中心とする、主に横浜市南部保健医療圏を中心とした脳卒中地域医療連携パス。

(ケ) かいごのW a なか 在宅看護部会

横浜市介護保健事業所主催による、みなと赤十字病院等基幹病院、訪問看護ステーション等の連携について症例検討や研修を毎月開催。

(コ) 地域医療連携に携わる事務担当者交流会

横浜南部保健医療圏の中核病院の地域医療連携業務に携わる事務担当者の交流会を隔月当番制で開催。

I 医療提供計画書

「3 地域医療の質向上」

- (1) 治験・受託研究に関するもの
- (2) 患者・市民に対する相談・啓発活動
- (3) 市民委員会の開催
(市民委員会要綱案・公開要領案)
- (4) カルテ開示
(診療報酬の提供に関するガイドライン)
- (5) 倫理委員会の開催

3 地域医療の質の向上

(1) 治験・受託研究に関するもの

	治験・受託研究の名称	内容・目的
1	医薬品・医療機器の治験	製薬会社からの依頼による臨床試験（フェイズⅠ～フェイズⅢ）
2	市販後調査	使用成績調査、特別調査、市販後臨床試験
3	自主研究	医師主導の臨床研究
4	適用外使用	医薬品の適応外使用に関する審議
5	治験ホームページ	臨床試験管理センター（仮称）のホームページにより、治験の啓発と依頼者への当院での治験体制、手続き方法等のインフォメーション

(2) 患者・市民に対する相談・啓発活動

	名称	内容	対象者
1	健康チェックコーナーの設置	他団体が実施する地域のイベント会場で、血圧・体脂肪・肥満度・血糖値等の測定と医師による健康相談・栄養士による栄養相談の実施	一般市民

(3) 市民委員会の開催

ア 市民委員会開催（予定）

年2回開催予定

イ 平成21年度委員会開催計画

上半期開催予定（平成21年4月～9月）

下半期開催予定（平成21年10月～平成22年3月）

ウ 委員会要項

横浜市立みなと赤十字病院市民委員会要綱参照

【参考】委員名（18～20年度）

	委員名	役職・任命月日等
1	行天 良雄	委員長（医事評論家） 平成18年9月11日委嘱
2	保坂 洋夫	委員（済生会横浜市南部病院院長） 〃
3	向山 秀樹	委員（横浜市中区医師会会長） 〃
4	青木悠紀子	委員（元磯子区医療センター訪問看護ステーション管理者） 〃
5	荻野アンナ	委員（作家 慶応義塾大学文学部教授） 〃
6	市毛ひとみ	委員（みなと赤十字病院奉仕団副委員長） 〃
7	前田 次啓	委員（日本発条株式会社最高顧問） 〃
8	高橋 柢祐	委員（横浜市中区連合町内会長連絡協議会会長） 〃
9	川本 守彦	委員（川本工業株式会社代表取締役社長） 〃
10		

横浜市立みなと赤十字病院市民委員会要綱

(設置)

第1条 横浜市立みなと赤十字病院市民委員会（以下、「委員会」という。）は、横浜市立みなと赤十字病院（以下、「当院」という。）の運営に関し、市民の意見を反映させることによって、適切な役割・機能の確保と、提供する医療・サービスの質の向上を図ることを目的とする。

(役割)

第2条 委員会は、次に定める事項について協議し、院長に意見を述べるものとする。

- (1) 市民に対して提供する当院の情報に関すること。
- (2) 当院が提供する医療・サービスの質の向上に関すること。
- (3) 当院の運営に関すること。

2 院長は、委員会の意見を尊重し、当院の運営に適切に反映されるよう努めるものとする。

(委員)

第3条 委員会の委員は、次に掲げる者の中から、おおむね10名の範囲内で院長が選任する。

- (1) 当院利用者その他の市民
- (2) 医療に関するNPO、病院ボランティア等関係者
- (3) 地域医療関係者
- (4) 企業経営、顧客サービス等について学識又は経験を有する者
- (5) 医療、病院経営等について学識又は経験を有する者。
- (6) その他院長が適当と認める者

2 委員の任期は、1年とする。ただし、3年を超えない範囲で再任することができる。

3 委員に欠員が生じたときは、補欠の委員を選任することができる。補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に、委員長1名を置く。

2 委員長は、委員会を総括し、会議の議長を務める。

3 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務は、委員長が委員の中からあらかじめ定めた者が代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議（以下、「会議」という）は必要に応じて委員長が召集する。

- 2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 委員長が適当であると認めたときは、各委員は、委員会に代理者に出席させることができる。

(会議の公開等)

第6条 会議は、原則として公開とする。

- 2 委員長は、会議を非公開とする必要があると認めるときは、委員の意見を聴いた上で、非公開の決定をすることができる。
- 3 前項の場合における非公開の事由については、次の各号に掲げる場合とする。
 - (1) 他の法令等に特別の定めがある場合
 - (2) 非公開情報に該当する事項を審議する場合
 - (3) 会議を公開することにより、公正かつ円滑な議事運営が著しく阻害されると認められる場合で、市及び当院双方の決定により、その会議の全部又は一部を公開しないこととした場合。
- 4 会議資料、議事録等は、速やかに適切な方法により一般に公開するものとする。
- 5 その他、会議の公開等に関して必要な事項については、院長が別に定める。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、事務部総務課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成18年8月22日から実施する。

(4) カルテ開示

- ア ガイドライン
診療情報の提供に関するガイドライン参照
- イ その他
電子カルテ端末により、検査結果と診療スケジュール(薬剤、食事、検査)を任意に開示

診療情報の提供に関するガイドライン

1. 基本理念

横浜市立みなと赤十字病院は、医師が診療情報を積極的に提供することにより、患者が疾病と診療の内容を十分に理解し、医師と患者とが相互に信頼関係を保ちながら、疾病を克服することを目的として、病院の倫理規範の一つとして、当ガイドラインを制定する。又患者死亡後の遺族（法定相続人）に対しても対応する。

横浜市立みなと赤十字病院の全ての医師は、この目的を達成する為に、個人情報保護法並びに当ガイドラインの趣旨に沿って、患者への診療情報の提供に努めるものとする。

2. 定義及び適用範囲

当ガイドラインで使う主な用語の意味は、以下のとおりとする。

- (1) 診療情報・・・・・・診療の過程で、患者の身体状況、病状、治療等について、医師又はその指揮・監督下にある医療従事者が知り得た主観的、客観的情報
- (2) 診療録・・・・・・医師法第24条所定の文書
- (3) 診療記録等・・・・・・診療録、手術記録、麻酔記録、各種検査記録、検査成績表、エックス線写真、助産録、看護記録、リハビリ実施録、その他、診療の過程で患者の身体状況、病状等について作成、記録された書面、画像等の一切
- (4) 要約書・・・・・・診療記録等の主要な内容を簡略にまとめたもの
- (5) 診療記録等の開示・・・患者など特定の者に対して、診療記録等を閲覧させ、写し（複写）を交付し、またはこれらに変えて要約書を交付すること
- (6) 遺族・・・・・・診療録等の開示を求めることができる者は、患者の法定相続人に限定する

3. 診療情報の提供

(1) 診療情報提供の一般原則

- ア 医師は、患者及び遺族に対して懇切に診療情報を説明・提供するよう努める。
- イ 診療情報提供は、口頭による説明、説明文書の交付、診療記録等の開示等、具体的状況に即した適切な方法により提供する。

(2) 診療の際の診療情報提供

ア 診療中の患者に対する診療情報の説明・提供は、概ね次に掲げる事項を含むものとする。

(ア) 現状の症状及び診断病名

(イ) 予後

(ウ) 処置及び治療の方針

(エ) 処方する薬剤については、薬剤名・服用方法・効能・特に注意を要する副作用

(オ) 代替的治療法がある場合には、その内容及び利害損失

(カ) 手術や侵襲的な検査を行う場合には、その概要、危険性、実施しない場合の危険性、合併症の有無

イ 患者が「知らないでいたい希望」を表明した場合には、これを尊重する。

ウ 患者が死亡した際には、遺族に患者の死亡に至る診療経過、死亡原因などの説明を行う。

(3) 診療記録等の開示による情報提供

ア 医師及び院長は、患者又は遺族が診療記録などの閲覧、複写を求めた場合には、原則としてこれに応ずるものとする。

イ 医師及び院長は、診療記録等の閲覧、複写に変えて、要約書を交付することができる。

ウ 診療記録等の開示の際、患者又は遺族が補足的な説明を求めたときは、医師は出来る限り速やかにこれに応ずるものとする。

(4) 診療記録等の開示を求め得る者

診療情報などの開示を求めることができる者は、原則として次のとおりとする。

ア 患者が成人で判断能力がある場合は、患者本人

イ 患者に法定代理人がある場合は、法定代理人。但し、満15歳以上の未成年者については、疾病の内容によっては本人のみの請求を認めることができる。

ウ 患者本人から代理権を与えられた親族

エ 患者が成人で判断能力に疑義がある場合は、現実に患者の世話をしている親族及びこれに準ずる縁故者

オ 診療契約に関する代理権が付与されている任意後見人

カ 患者死亡後は遺族（法定相続人）に限定する

(5) 診療記録等の開示を求める手続き

ア 診療記録等の開示を求めようとする者は、横浜市立みなと赤十字病院が定めた方式にしたがって、院長に対して申し立てる。

イ 前項の申立人は、自己が前記3-(4)に定める適正な申立人であることを証明するものとする。

ウ ア項の申し立てを受けた院長は、速やかに診療記録等を開示するか否か等を決定し、これを申立人に通知する。

(6) 費用の請求

院長は、診療記録等の謄写に要した代金等の実費を診療記録等の開示を求めた者に請求することができる。

(7) 手続き規定の整備

院長は、診療記録等の開示請求、実施、費用請求等に関する規定及び申し立て書の書式を整備する。

(8) 診療記録等の開示などを拒みうる場合

医師及び院長は、患者からの診療情報の提供、診療記録等の開示の申し立てが、次の事由に当たる場合には、前記3-(1)、3-(2)、及び3-(3)の定めにかかわらず診療情報の提供、診療記録等の開示の全部又は一部を拒むことができる。なお、診療記録等の開示などを拒む場合には、苦情処理機関（地方医師会に開設）があることを教示する。

ア 対象となる診療情報の提供、診療記録の開示が、第三者の利益を害する恐れがあるとき

イ 診療情報の提供、診療記録等の開示が、患者本人の心身の状況を著しく損なう恐れがあるとき

ウ 前二号のほか、診療情報の提供、診療記録等の開示を不相当とする相当な事由が存在するとき

4. 医師相互間の診療情報の提供

医師の求めによる診療情報の提供

ア 当院の医師は、患者の診療のために必要があるときは、患者の同意を得て、その患者を診療した、若しくは、現に診療している他の医師に対して直接に検査等の診療情報の提供を求めることができる。

イ 前項の求めを受けた医師は、患者の同意を確認したうえで、検査記録等の診療情報を提供するものとする。

5. その他

(1) 教育、研修

横浜市立みなと赤十字病院は、医師がガイドラインを遵守することを促すために、診療情報の提供、診療記録等の開示に関する教育、研修に努める。

(2) 診療録等の開示に係る相談窓口の設置

医師と患者又は遺族との間の診療情報の提供や診療記録等の開示に関する苦情等の受付窓口は外来業務課とする。

(3) ガイドラインの効力

当ガイドラインは、施行日以前になされた診療及び作成された診療記録等については適用されない。

(4) ガイドラインの見直し

横浜市立みなと赤十字病院は、当ガイドラインを、診療録その他の診療記録等の作成・管理に関する環境の整備、並びに医療をめぐる諸条件の変化に適応させるため、2年ごとにその内容を見直す。

但し、必要があるときは、何時でも適宜、検討することができる。

付則

(施行期日) このガイドラインは、平成17年 4月 1日より施行する。

(改定) このガイドラインは、平成18年 4月 1日より施行する。

(改定) このガイドラインは、平成18年10月 1日より施行する。

(5) 医療倫理委員会の開催

ア 医療倫理委員会開催日

年3～4回開催予定(不定期)

イ 委員名

	委員名	役職・性別・任命月日・委嘱期限等
1	小森 博達	委員長（副院長）・男・平成18年4月1日再任
2	高橋 誠司	外部委員（元神奈川県立保健福祉大学教授）・男・平成17年4月1日任命
3	稲田 輝明	外部委員（元判事）・男・平成17年6月1日任命
4	中村 陽一	委員（アレルギーセンター長）・男・平成18年4月1日再任
5	山本 晃	委員（第三内科部長）・男・平成18年4月1日新規任命
6	石束 嘉和	委員（精神科部長）・男・平成18年4月1日再任
7	伊藤 理	委員（形成外科部長）・男・平成18年4月1日再任
8	田淵 典之	委員（心臓血管外科部長）・男・平成18年4月1日再任
9	加治木 葉子	委員（看護部長）・女・平成18年4月1日新規任命
10	小笠原 利枝	委員（緩和ケア病棟一師長）・女・平成18年4月1日新規任命
11	高橋 弘充	委員（薬剤副部長 院長補佐）・男・平成18年4月1日再任
12	池田 充	委員（経営企画課長）（委員会事務局）・男・平成18年4月1日再任

I 医療提供計画書

「4 病院管理」

- (1) 安全管理に関する計画
- (2) 災害対策に関する計画
- (3) 患者サービスに関する計画

4 病院管理

(1) 安全管理に関する計画

	会議・イベント等	内容	頻度	参加者
1	医療安全管理委員会	医療安全対策の検討および推進に関すること。医療安全推進のための研修に関すること。インシデント・アクシデントレポートに関する報告	月1回程度 要事設置	医師・看護師・薬剤師・事務
2	RM委員会	インシデント・アクシデント報告の提出促進、浸透、集計、分析。リスクマネージャーへの教育、指導。	月1回	実務者レベルの医師・看護師・事務・コメディカル
3	医療事故調査委員会	当該医療行為の発生経過、原因について検討。これに伴う診療録および諸資料の整備。	要事設置	医師・看護師・事務・外部委員
4	院内感染防止対策委員会	抗生物質、消毒剤の適正投与に関する検討。感染防止のための職員教育。	月1回	医師・看護師・薬剤師・検査技師・事務
5	感染対策チーム	院内感染の調査、研究、予防策などの検討。	週1回	医師・看護師・薬剤師・検査技師・事務
6	医療の質検討委員会	医療の質の改善・向上について検討。患者本意の医療を推進する。	月1回 要事設置	医師・看護師・事務
7	職員研修	医療事故防止について	年2回	全職員
8	〃	院内感染対策について	年2回	〃

(2) 災害対策に関する計画

	会議・訓練等 名称	内容	頻度	参加者
1	救護担当者会議	日赤県支部を中心に県内赤十字の救護について検討・連絡・調整を行う。	年4回	赤十字事業推進課および看護部救護担当者
2	災害医療拠点病院連絡協議会	神奈川県内32の拠点病院連絡会議	年数回	赤十字事業推進課救護担当者等
3	災害医療検討ワーキング	みなと赤十字病院の災害医療全般について検討	年数回	救護員指導医師を中心に10名程度
4	赤十字神奈川県支部救護班要員教育訓練	日赤県支部が実施する県内各施設の救護班要員に対する基礎から応用までの訓練	年1回	救護班要員登録者
5	八都県市合同防災訓練	首都八都県市の総合防災訓練	年1回	救護班要員登録者
6	羽田国際空港救難救助訓練	羽田空港が主催する年二回の訓練のうち、みなと赤十字病院は秋の総合訓練に参加	年1回	救護班要員登録者
7	d E R U 取り扱い研修会	日赤県支部が実施する県内各施設の救護班要員に対する研修会	年1回	施設救護担当者 救護班要員登録者
8	船舶搬送患者受け入れ訓練	緊急時患者搬送用接岸場の船舶から救急外来まで、患者を搬送する訓練	年1回	職員・奉仕団
9	N B C 災害除染訓練	N B C 災害に対応できるよう、除染セットを使用した訓練	年1回	救護班要員登録者
10	災害医療対応訓練	災害想定を元に、多数傷病者の受け入れや病棟管理、災害対策本部運営など、総合的な訓練	年1回	職員・奉仕団
11	災害時のこころのケア研修	災害時医療救護活動にあたる救護員を対象として行う研修	年1回	救護員登録者

(3) 患者サービスに関する計画

	イベント・会議・研修等名称	内容	頻度	参加者
1	看護の日	健康チェック、看護に関するインフォメーション、便利グッズの紹介	年1回	外来受診者、入院患者、一般市民
2	クリスマスイベント	ボランティアによる歌のプレゼント、クリスマスカード等のプレゼント	年1回	対象；入院患者 協力；みなと病院奉仕団
3	各種コンサート	ボランティアによる歌や楽器演奏などのミニコンサート	年数回	対象；入院・外来患者 協力；みなと病院奉仕団
4	みなと日赤寄席	落語会	年1回	対象；入院患者・家族 協力；みなと病院奉仕団
5	病棟単位イベント	お花見、子供の日、納涼会、クリスマス等四季折々のイベントを病棟ごとに実施し、ボランティアが支援	随時	対象；入院患者 協力；みなと病院奉仕団
6	ボランティア活動推進委員会	病院ボランティアと病院との連絡調整会議	年数回	みなと赤十字病院奉仕団役員と関係職員
7	病院ボランティア養成講座	みなと赤十字病院のボランティアを志す人を対象とした講座	年3回程度	対象；一般市民 協力；みなと病院奉仕団
8	病棟ボランティア研修会	病院ボランティア養成講座修了者で、緩和ケア病棟を中心に病棟での活動を希望するボランティアのための研修会	年数回	みなと赤十字病院奉仕団員
9	赤十字ボランティア初級研修会	赤十字奉仕団員のための初級研修会	年1～2回	みなと赤十字病院奉仕団員
10	その他ボランティア研修会	ボランティア活動を円滑に進めるための研修会 (事例検討や介助法研修等)	年2～3回	みなと赤十字病院奉仕団員

I 医療提供計画書

「5 職員等研修」

(1) 院内職員研修計画

(2) 院外学生等研修計画

(3) 臨床研修プログラム

5 職員等研修

(1) 院内職員研修計画

	研修（勉強会）名称	内容	対象者
1	フレッシュ	フォローアップ研修2回、学習会	新人看護職員
2	メンバーシップ	メンバーシップ研修会、事例研究、学習会	リーダーの新人レベルの評価を受けた看護職員
3	プリセプターシップ	プリセプターシップ研修会、キャリア開発研修会、フォローアップ研修会	メンバーシップを終了した看護職員
4	リーダーシップ入門	リーダーシップ研修会、仕事研究、学習会	リーダーの一人前レベルの看護職員
5	マネージメント入門	マネージメント研修会、中間報告、報告会	リーダーシップ入門を終了した看護職員
6	マネージメント実践	マネージメント研修会、体験実習、報告会	マネージメント入門を終了した看護職員
7	看護研究	研究講義、論文抄読、研究指導、発表会	リーダーシップ入門を終了した看護職員
8	がん化学療法支援	講義、技術、事例検討	リーダーシップ入門を終了した看護職員
9	がん患者看護支援	講義、事例検討	リーダーシップ入門を終了した看護職員
10	重症者支援	講義、事例検討	リーダーシップ入門を終了した看護職員
11	口腔ケア	講義、演習、事例展開	リーダーシップ入門を終了した看護職員
12	新任管理者	管理者の役割、課題中間評価、採集評価	新任係長、係長代理
13	救護看護師養成研修（支部・県内3病院合同）	赤十字概論、災害看護論、赤十字救急法	赤十字看護基礎教育施設以外の卒業の看護職員
14	静脈注射研修	法的、論理的根拠、薬理的知識、技術	レベル1～4の段階にある看護職員
15	感染管理研修（東部ブロック）	感染対策・管理について	院内で感染管理を推進する看護師
16	リスクマネージャー研修（東部ブロック）	リスクマネジメントについて、事例検討	院内でリスクマネジメントを推進する管理者
17	皮膚・排泄ケア看護学学習会（東部ブロック）	基礎知識、事例検討、演習	院内でストマケアを推進する看護師
18	呼吸療法認定学習会（東部ブロック）	呼吸療法の知識、演習	呼吸療法認定を持つ看護師
19	こころのケア研修	こころのケアについて、演習	救護班として登録のある職員
20	看護係長研修（東部ブロック）	係長としての自己課題について確認、対策を学ぶ	看護係長
21	看護師長研修（東部ブロック）	看護師のキャリア形成とナラティブ	看護師長
22	新人オリエンテーション	講演会「接遇について」「個人情報保護法について」「電子カルテの概要」	新規採用職員
23	新規採用職員基礎研修会（支部）	赤十字職員としての意識の確立、執務に必要な知識の習得、参加相互の交流	新規採用職員
24	接遇研修会（支部）	顧客満足的重要性の認識、執務に必要な基礎的かつ一般的接遇の知識の習得	業務上、接遇を必要とする職員
25	赤十字基礎研修会（支部）	赤十字の組織と事業の概要、業務遂行に必要な基礎知識の習得、参加者の交流	新規採用職員研修会や中堅職員研修会に参加できなかった職員

26	係長研修会（支部）	部下の育成指導、仕事の進め方、問題解決、リーダーシップ等	係長または相当職員
27	新任係長級職員研修会（合同）	部下の育成指導、仕事の進め方、問題解決、リーダーシップ等	3 県支部・施設の新任係長級職員
28	新任課長級職員研修会（合同）	赤十字を取り巻く世界情勢の理解、管理者としての認識、問題解決能力の向上	3 県支部・施設の新任課長級職員
29	勤務評定者研修会（本社）	勤務評定制度を公正に実施するため、制度の目的・仕組みについての理解、正しい評定手法等の習得	新任課長および管理者
30	中堅職員研修会（支部）	赤十字事業の現状と課題を踏まえ、中堅職員としての自覚と責任を持たせる。職務遂行に必要な能力の向上	採用後5～10年前後の職員
31	広報研修会 I	事業の透明性確保と赤十字活動への理解・共感を深め、広報の基礎を学ぶ	広報委員など
32	課長研修会	組織の基本理念の下、課長職としての責務・役割の再認識、管理能力の向上	現任課長級相当職員で、未履修のもの
33	係長研修会	組織の基本理念の下、課長職としての責務・役割の再認識、管理能力の向上	現任課長級相当職員で、未履修のもの
34	新規採用職員フォロー研修会Ⅱ-①（支部）	新規採用研修会の成果と職場内におけるOJTの成果を業務にいかにかに生かしてきたかの確認	新規採用職員基礎研修会参加者
35	新規採用職員フォロー研修会Ⅱ-②（支部）	新規採用研修会の成果と職場内におけるOJTの成果を業務にいかにかに生かしてきたかの確認	新規採用職員基礎研修会参加者
36	新規採用職員フォロー研修会Ⅱ-③（支部）	新規採用研修会の成果と職場内におけるOJTの成果を業務にいかにかに生かしてきたかの確認	新規採用職員基礎研修会参加者
37	広報研修会Ⅱ	事業の透明性確保と赤十字活動への理解・共感を深め、広報の基礎を学ぶ	広報委員など
38	ライフプランセミナー（支部）	定年後の生活設計に役立つ情報や計画の立て方	赤十字施設に勤務する55歳以上の職員、総務担当者
39	女性活用のための中間管理職セミナー	講演会	女性の部下を育成する立場にある中間管理職
40	神奈川県内医師等研修会	講演会	3 赤十字病院の医師等
41	神奈川県病院協会「病院管理研修会」	講演会	管理部門・専門職・事務職・幹部および近い将来管理者として見込みのあるもの
42	平成20年度基幹幹部職員養成講習会		適任者
43	赤十字病院臨床研修医研修会	各赤十字病院で研修を受けている研修医に対し、赤十字に触れる機会を与え、赤十字事業に対する理解を深め、研修終了後赤十字病院への勤務を期待する	赤十字病院で臨床研修を行なっている2 年次生
44	プログラム責任者養成講習会	円滑かつ効果的な卒後臨床研修の助言・指導その他援助が行なえるようにする	臨床研修指定病院に勤務する医師で、実際にプログラムの作成・立案に関わっている
45	日本赤十字社臨床研修指導医養成講習会	講演会等	臨床研修指定病院に勤務する医師で、実際に臨床研修医への指導に関わっている医師
46	人権に関する研修会	講演会等	赤十字施設職員
47	危機管理研修会	講演会等	赤十字施設職員
48	自己啓発支援制度	「通信教育講座のご案内」の配布及び周知	適任者

(2) 院外学生等研修計画

	研修（勉強会）名称	内容	対象者
1	別添あり		

平成21年度 看護教育実習受け入れ一覧表

	4月	5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月												
		27	7	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	21	27	3	10	17	24	31	7	14	24	28	5	12	19	26	2	9	16	24	30	7	14	21	28	4	12	18	25	1	8	15	22	5	12	19	26	1	8	15	23	29
母	神奈川県立よこはま看護専門学校	5	5	5	5	5	5					5	5	5	5	5	5			5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	5	5																						
	横浜市医師会看護専門学校								6	6				6	6								6	6																														
小	横浜市医師会看護専門学校			5	5	5	5	5	5	5	5														5	5																												
	横浜市病院協会看護専門学校													5	5	5	5							5	5																													
	社会保険横浜看護専門学校																		6	6								6	6																									
基	神奈川県立よこはま看護専門学校						25	基礎Ⅰ(2日)							25	基礎Ⅰ																							25	25	25													
	横浜市医師会看護専門学校																	18	18	18	基礎Ⅱ									18	基礎Ⅰ																							
	神奈川県立衛生看護専門学校																																																					
	横浜市病院協会看護専門学校							10	10	10															10	10																												
	日本赤十字看護大学																		19	19	19	19	レベルⅡ																				22	22	レベ									
成	神奈川県立よこはま看護専門学校							20	20	20	成人Ⅱ														10	10	12	12			20	20	20	20	成人Ⅲ																			
	横浜市医師会看護専門学校		6	6	6	6	6	6	6															5	5																													
	神奈川県立衛生看護専門学校							5	5	5	5	5	5	5	5												5	5	5	5																								
	横浜市病院協会看護専門学校																											10	10	10																								
老	横浜市医師会看護専門学校			5	5	5	5	5	5																		6	6	6																									
	神奈川県立衛生看護専門学校																																																					
総	日本赤十字看護大学																										16	16	16																									
	一般病棟の合計	0	0	0	11	11	11	6	11	31	30	25	5	10	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	36	18	18	6	21	21	0	10	37	27	39	32	38	20	0	0	20	20	42	42	0	25	25	25	0	0	0	0

在	神奈川県立よこはま看護専門学校					3	*2日間								3					2					3				3																							
	横浜市立大学医学部看護学科																																																			
合計	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 臨床研修プログラム

横浜市立みなと赤十字病院医師臨床研修プログラム参照

横浜市立みなと赤十字病院医師臨床研修プログラム

【研修理念】

横浜市立みなと赤十字病院は、平成17年4月1日に現在の地に開院し、病床数も拡大した。地域医療を担う病院として24時間365日の救急診療を行うとともに、引き続き社会的要請の高い疾患に対し継続的な医療を実施する。また、アレルギー疾患医療や障害者医療、緩和ケア医療といった社会的使命も担っている。さらに、国内国外を問わず赤十字病院としての救護医療も継続してゆく。このような理念にもとづいて研修を実施し、均整のとれた臨床医を育成することをめざす。

〔一年目〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
A	内科系						外科			麻酔・救急		
B	内科系						麻酔・救急			外科		
C	外科			麻酔・救急			内科系					
D	麻酔・救急			外科			内科系					

内科系：内科、循環器科、消化器科、呼吸器科、神経内科を組み合わせ、2ヶ月ずつローテーションする。

〔二年目〕（ローテーション時期は、選択科や地域医療の時期で調整します）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
A	小児科		選択科				産婦人科		選択科		地域	精神
B	選択科		小児科		選択科				精神	地域	産婦人科	
C	選択科				小児科		選択科		産婦人科		精神	地域
D	選択科				産婦人科		小児科		地域	精神	選択科	

選択科：内科系各科、小児科、外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、眼科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、産婦人科、麻酔科、放射線科、形成外科、緩和ケアから選択。単数科から複数科の選択が可能である。

精神科（精神）：当院精神科での研修を行う。

地域医療（地域）：横浜市内保健所、神奈川県立診療所（藤野・青野・千木良）にて行う。

一年目：麻酔科・救急で救急医療の基本と実践（バイタルサインの把握、救命処置、蘇生法等）を行う。外科では、創傷処置や簡単な手術経験をとうして切開、縫合、止血等の基本手技を習得する。内科は、頻度の高い疾患を中心に経験し、内科診療の基本を学ぶ。希望者においては、二年目研修予定の産婦人科研修を2ヶ月、前倒しで研修することを可とする。

二年目：選択した科において一年目で経験出来なかった、より専門性の高い検査手技や治療法を含めた内容の診療を行う。小児科では、一般的な疾患、救急を習得。精神科は、精神医学的面接、基本的精神病状の把握について学ぶ。産婦人科では、正常分娩の介助、婦人科診察の基本を中心に研修する。

【到達目標】

I 医師としての基本的態度の養成

- ①患者および家族に対する基本的態度、対応のしかたを学ぶ。
- ②患者に対して病状や治療方針を分かりやすく説明できる。
- ③患者とその家族の思いを傾聴できる。
- ④重要な医事法規を理解する。

II 診療行為をとおして以下の臨床能力の養成

- ①病態に対する観察力
- ②病歴を的確に聴取する能力
- ③診察の基本的手技の習得
- ④外科系基本手技の習得
- ⑤救命処置の習得
- ⑥適切な検査を選択する能力
- ⑦基本的検査技術の習得
- ⑧患者の病態についての情報を総合的に判断し疾患を診断する能力
- ⑨必要に応じて他の専門医に適切に相談できる能力
- ⑨患者の背景を考慮し適切な治療法を選択する能力
- ⑩要点を得た診療録及び各種診断書の作成能力
- ⑪経験症例を呈示、発表する能力
- ⑫地域医療および病診連携の重要性の理解

必修科研修要項

内科系

一般内科、神経内科

【一般目標】

生活習慣病を始めとする日常診療の場で頻度の高い疾患の診断・治療とその経過観察を通して全人的医療を行い、医師としての基本的態度を習得する。

【個別目標】

1. 主訴、病歴、患者の背景(家族歴や生活歴など)を的確に聴取できる。
2. 基本的診察手技を習得する。(別項 b)
3. 診断に必要な検査を選択もしくは実施できる。(別項 c)
4. 普遍的疾患の診断ができる。(別項 a)
5. 基本的な治療を実施できる。(別項 d)
6. 4.5. について適切にコンサルテーションができる。
7. 経験症例をまとめ考察し呈示できる。
8. 病診連携、介護担当者との連携ができる。
9. 適切な診療録・診断書が作成できる。

【研修内容】

a. 研修対象疾患

脳神経系疾患： 脳血管障害、パーキンソン病、痴呆

内分泌代謝性疾患：糖尿病、高脂血症、甲状腺機能亢進症、橋本病

腎疾患：ネフローゼ症候群、腎不全 急性腎炎、慢性腎炎

リウマチ系疾患：関節リウマチ、全身性エリテマトーデス

血液疾患：貧血、血小板減少症、DIC、悪性リンパ腫、白血病

感染症：ウイルス性感染症（伝染性単核球症、インフルエンザ、麻疹等）

細菌性感染症（敗血症、腎盂炎、脳髄膜炎）

その他：アレルギー性疾患、薬物中毒、過換気症候群

b. 診察手技

神経学的所見の取り方

リンパ節の触診

甲状腺の触診

皮診の診かた

胸部の聴診

腹部の触診

筋関節所見の取り方

浮腫のみかた

c. 検査手技・結果の理解

血液像の診かた

血液ガスの採取

血液および各種培養検体の採取

血糖測定

眼底検査

腰椎穿刺

骨髄穿刺

頭部CT読影

脳波の読み方

d. 基本的治療

食事療法：カロリー、塩分、蛋白量の設定、経管栄養など

輸液療法：電解質補正、高カロリー輸液

インスリン療法：インスリン製剤の選択、投与量の決定

抗生剤療法：適切な選択と使い方

ステロイド療法：投与量、副作用対策

化学療法：併用療法の選択、副作用対策

輸血療法：交差試験の実際、成分輸血の適応

胃洗浄

【研修方略】 () は個別目標番号

1. ガイダンス：インフォームド・コンセント・院内感染対策・抗生剤療法等 (1,6)
2. 病棟での研修（上級医とペアで担当医となる） (1~9)
3. 外来での研修（上級医の指導下で新患患者・救急患者を担当する） (1~6)
4. カンファレンス：症例発表 (7)
5. 検査室実習：末血検査・心電図・超音波・CT読影 (3)
6. 抄読会 (7)

【研修評価】

1. 指導医による観察（診察態度、手技、カンファレンスにおける発表の評価など）
2. EPOCシステムによる経時的評価を行う。

呼吸器科

【一般目標】

呼吸器疾患に対する診療の能力を身につけるため、代表的な呼吸器疾患に関する診察法、検査、手技、治療法などを習得する。

【個別目標】

1. 主訴、病歴、患者の背景（家族歴、既往歴、喫煙歴、職業歴、動物飼育歴など）を的確に聴取できる。
2. 種々の呼吸器症状を呈する疾患を列挙できる。（別項 a）
3. 呼吸器疾患の診療に必要な診察手技を取得する。（別項 b）
4. 呼吸器疾患の診断に必要な検査を選択もしくは実施できる。（別項 c）
5. 検査結果を正確に解釈し、鑑別診断ができる。（別項 a）
6. 代表的な呼吸器疾患の治療を実施できる。（別項 d）

7. 終末期医療において、患者及び家族に対する精神的ケアの必要性を理解する。
8. 病診連携、介護担当者、ケースワーカーとの連携ができる。適切な診療録・診断書の作成ができる。
9. 経験した症例をまとめ考察し呈示できる。

【研修内容】

a. 研修対象疾患

肺癌、気管支喘息、COPD（慢性肺気腫、慢性気管支炎）、気管支拡張症、間質性肺炎（特発性、膠原病性、アレルギー性、薬剤性）、呼吸器感染症（急性気管支炎、細菌性

肺炎、肺結核、肺真菌症など）、胸膜炎、肺血栓塞栓症、肺水腫、自然気胸、過換気 候群

b. 診察手技

胸部の視診・触診・打診・聴診

c. 検査手技・結果の理解

動脈血の採取と動脈血液ガスの解釈

肺機能検査

胸腔穿刺の手技と胸水検査の解釈

胸腔内カテーテルの留置

気管挿管の手技

胸部レントゲン読影

胸部 CT 読影

胸部超音波検査

胸部 MRI、肺血流シンチグラム、Ga シンチグラム

気管支鏡検査

胸腔鏡検査

d. 基本的治療

呼吸器症状に対する投薬：気管支拡張剤、鎮咳剤、去痰剤などの選択

吸入療法：適応と薬剤の選択

酸素療法：適応と投与方法

人工呼吸管理：適応とレスピレーターの使い方

非侵襲的換気療法：適応と方法

抗生剤療法：適切な選択と使い方

ステロイド剤療法：適応、投与量、副作用対策

抗癌剤療法：適応、投与量、副作用対策

【研修方略】（ ）は対応する個別目標番号

1. ガイダンス：インフォームドコンセント・院内感染対策・抗生剤療法・抗癌剤療法・放射線療法など（1）
2. 病棟での研修（上級医とペアで担当医となる）（1～9）
3. 外来での研修（上級医の指導下で新患者・救急患者を担当する）（1～6）

4. カンファランス：症例発表（9）
5. 検査室実習：肺機能検査・超音波検査・胸部 CT 読影・気管支鏡検査・胸腔鏡検査（4）
6. 抄読会（9）

【研修評価】

1. 指導医による観察（カンファレンスにおける発表の評価など）
2. EPOC システムによる経時的評価

消化器科

【一般目標】

通常の日常診療にて遭遇することの多い消化器系疾患に対し基本的な診察・診断・治療につき習得する。

【個別目標】

1. 外来および入院を問わず豊富な症例に対峙し、自覚症状・病歴聴取・理学的所見などから必要とされる検査を取捨選択し鑑別していく能力を培う。
2. 緊急処置を必要とするような症例においては放射線科、内視鏡室、外科との緊密な連携の下に対応を会得する。
3. 病態に応じ治療を施行し、長期予後を考え合わせた治療計画を病診連携・在宅介護をふまえながら検討する。
4. 原則的に研修医は担当患者の検査に参加することを必須とする。
5. 毎週の入院患者症例検討会にて問題点の検討をおこなう。
6. 適切な診療要約を作成する。
7. 内科系各科や外科との合同カンファレンス、また、CPCや病病連携・病診連携カンファレンスには積極的に参加する。
8. 将来的に消化器病学を志す研修医に対しては上部消化管内視鏡検査に習熟の後、CF・ERCPなどの研修を認める。
9. 消化器疾患に対する診断・治療は急速な進歩をとげているが、研修にあたっては各個人の状況に応じ消化管造影・超音波・CT・MRI・血管造影などの各種検査診断、また消化管疾患や肝胆膵疾患に対する内視鏡治療（EVL・EMR・EPBDなど）・Interventional Radiology（PTBD・TAE・RFA・BRTOなど）に参加し経験を積めるよう配慮する。

【研修内容】

1. 一般的事項
 - a. 基本的検査，処置：腹部触診、直腸指診、単純X線読影
救急処置一般、輸液，輸血，栄養管理
 - b. 一般的処置：胃管、イレウス管挿入、浣腸、腹腔穿刺と排液
 - c. 薬物療法
2. 診断
 - a. 血液，尿，便：肝機能検査、肝炎ウイルスマーカー、膵機能検査

免疫学的検査、腫瘍マーカー、便検査、細菌学・医動物学的検査

b. 消化管：X線検査、内視鏡検査

c. 肝，胆，膵，腹腔：超音波検査、CT、MRI、RI、ERCP、血管造影
肝生検、膵外分泌機能検査、腹水の鑑別診断

3. 疾患，治療

a. 消化管

食道：食道炎、機能異常、良性腫瘍、悪性腫瘍、食道静脈瘤

胃・十二指腸：胃炎、潰瘍、良性腫瘍、悪性腫瘍、

小腸・大腸：腸管感染症、虫垂炎、炎症性腸疾患、憩室炎、虚血性腸炎

薬剤起因性腸炎 腸閉塞、良性腫瘍、悪性腫瘍、過敏性腸症候群

肛門：痔核・痔瘻、裂肛

b. 肝，胆道

肝疾患：急性肝炎、劇症肝炎、慢性肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変
薬物性肝障害、アルコール性肝障害、脂肪肝、体質性黄疸、伝染性単核球
症、肝硬変、肝癌、肝膿瘍、肝嚢胞

胆道疾患：胆石症、胆嚢炎・胆管炎、胆道腫瘍、膵胆管合流異常、原発性硬化性
胆管炎、先天性胆道拡張症

膵疾患：急性膵炎、慢性膵炎、膵嚢胞性疾患、膵癌

腹腔・腹壁疾患：腹膜炎、癌性腹膜炎、結核性腹膜炎、ヘルニア

【研修方略】

1. ガイダンス：インフォームド・コンセント・院内感染対策・抗生剤療法など。
2. 病棟での研修（上級医とペアで診療）
3. 外来での研修（上級医の指導のもと診療）
4. 担当症例などのカンファレンス
5. 検査実習：血液検査・心電図・超音波・CT読影
6. 抄読会・手術症例病理カンファレンス・CPC

【研修評価】

1. 指導医による観察
2. EPOCシステムによる評価

循環器科

【一般目標】

心臓、中枢および末梢血管に関する疾患で日常臨床遭遇することも多い疾患の的確な診断および治療を行い、その経過、予後を観察し全人的診療の視点を維持しつつ医師としての基本的姿勢を習得する。

【個別目標】

1. 主訴、病歴、患者の背景（家族歴、既往歴等）を的確に把握できる。
2. 基本的診察手技を習得。

3. 診断に必要な検査を選択しそれを実施できる。
4. 一般臨床医として必要な基本的治療を実施できる。
5. 経験した症例を呈示できる。
6. 診連携の実践と、介護担当者との連携ができる。
7. 療録、診断書等の作成が適切にできる。
8. 緊急措置に必要な知識と基本的手技が実践できる。

【研修内容】

a. 研修対象疾患

高血圧症

虚血性心疾患：急性心筋梗塞症、不安定狭心症、労作性狭心症

不整脈：心房細動、心房粗動、心房頻拍、発作性上室性頻拍症

WPW 症状群、心室頻拍

大血管疾患：動脈瘤、解離性大動脈瘤

末梢血管疾患：バージャー病

心筋疾患：肥大型心筋症、拡張型心筋症

b. 診察手技

心音聴収の仕方

胸部の触診

浮腫の見方

腹部の触診

c. 検査手技、結果の理解

動脈血液ガス採取

静脈血液採取

血糖測定

眼底検査

胸部レ線の見方

1 2 誘導心電図の記録法と見方

胸部 CT の見方

心臓超音波検査の仕方と見方

大腿静脈、鎖骨下静脈穿刺法による Swan-Ganz カテーテル検査の仕方とデータ解釈

心臓カテーテル検査の介助の仕方

運動負荷試験の仕方と解釈

d. 基本的治療

食事療法：塩分制限指導、飲水制限指導

輸液療法：脱水や電解質異常に対する補正
循環動態不安定例への心血管作動薬の投与
電氣的直流除細動

緊急一時ペーシングの方法

緊急心臓カテーテル治療の介助

不整脈発作に対する各種抗不整脈剤の投与

大動脈内バルーンパンピング法の介助

永久型ペースメーカー手術介助

【研修方略】

1. ガイダンス：インフォームド・コンセント、循環器薬剤使用法
2. 病棟での研修（上級医とペアで担当医となる）
3. 外来での研修（上級医の指導下で救急患者を担当）
4. カンファランス：症例検討
5. 検査室実習：心電図、心エコー、運動負荷試験、心臓カテーテル室
6. 抄読会

【研修評価】

1. 指導医による観察（カンファランスにおける行動等）
2. EPOC システムによる経時的評価

外科

【一般目標】

プライマリーケアの基本的な診療能力を身につけるため代表的な外科的疾患に関する診察法、検査、手技、術前・術後管理等を経験する。

【個別目標】

1. 代表的な外科疾患患者を診察し、正確に所見がとれる。
2. 種々の症候、症状を呈する疾患を列挙できる。
3. 鑑別診断に必要な検査法の適応を判断し、選択できる。
4. 基本的な検査法の手順を理解し、指導医の下で実施できる。
5. 検査結果を正確に解釈し、鑑別診断できる。
6. 代表的な外科疾患の適切な術前・術後検査と治療計画が立てられる。
7. 代表的な外科疾患の術前・術後管理が出来る。
8. 主な外科手術術式を理解し、各症例の手術適応を理解できる。
9. 検査・治療に関する適切な IC が理解できる。
10. 手術所見を正確に把握し、術式の選択が理解できる。
11. 術後合併症の予防と治療について理解できる。
12. 終末期医療を経験し、患者と家族の心のケアの必要性を理解できる。
13. 退院後に必要な療養に関して理解できる。

14. 症例報告、発表ができる。

【研修内容】

a. 研修対象疾患

表在疾患：外傷、皮膚・皮下良・悪性疾患、ヘルニア、肛門疾患など
乳腺・甲状腺疾患：乳癌、甲状腺癌、乳腺・甲状腺良性疾患など
消化器疾患：食道・胃・小腸・大腸疾患、肝・胆・膵疾患など
その他：肺疾患、下肢静脈瘤など

b. 診察手技

体表の診察（視・触診）
胸腹部の診察（視・聴・触・打診）

c. 検査手技・結果の理解

血液、体腔液の採取と結果の解釈
各種カテーテル・チューブの留置
単純 X 線フィルムの読影
造影（消化管、血管）の手技と読影
US、CT、MRI、RI などの読影

d. 治療

保存的治療：輸液、薬剤、カテーテル・チューブなど
手術療法：根治的、姑息的
化学療法：適応と手順、副作用の理解
放射線治療：適応、副作用の理解
重症疾患に対する集中治療：呼吸、循環、障害臓器の管理、治療

【研修方略】

LS	SBO 番号	方法	場所
1	1,3,5,6,9	研修	外来診察室
2	1,3,5~9,11~13	研修	病棟
3	4	研修	検査室
4	2,3,5,6,8	講義	CR
5	10	研修	手術室
6	14	発表	症例検討会、研究会

【研修評価】

1. 指導医による観察記録・口頭試問・レポート
2. EPOC システムによる形成的および総括的評価

麻酔科

【一般目標】

主として手術室での麻酔業務に携わることによって生体機能制御の方法を習得し、そ

の理論的背景となる解剖学，生理学，薬理学などの知識の再確認も行う。さらに、呼吸や循環の管理方法の基礎も学び、他分野での診療に活用できるようにする。なお、機会に恵まれた場合には緩和医療や救命救急、ならびに集中治療の領域での診療方法をも習得する。

【個別目標】

1. 麻酔に関連しての事前患者評価が的確に行える。
2. 患者評価と予定される術式から、好適な麻酔方法を選択できる。
3. 各種麻酔方法の理論を理解している。
4. 麻酔方法とそのリスクについて患者に説明ができる。
5. 麻酔に関する基本的手技が行える。
6. 麻酔中の生体侵襲について、その対処方法とともに理解している。
7. 手術室における患者の全身状態を各種のモニターや検査により評価・解釈できる。
8. 手術室における患者の全身状態の変化に際し、適切かつ迅速に対処できる。
9. 術者や看護スタッフとの円滑な業務連携ができる。
10. 麻酔前から麻酔後に至るまで患者の精神的ケアを実践できる。
11. 麻酔記録を適切に作成できる。
12. 麻酔後の患者評価および必要な処置を的確に行える。

【研修内容】

a. 研修対象疾患

各診療科の扱う疾患のうち、以下の麻酔方法を選択できる症例を対象とする。
全身麻酔・脊髄くも膜下ブロック・硬膜外ブロック・静脈麻酔
および、これらの組み合わせ

b. 診察手技

呼吸器系の診察
循環器系の診察
中枢神経系の診察

c. 検査手技・結果の解釈

心電図の計測とその解釈
単純X線写真の読影
血液検体の採取と検査結果の解釈（動脈・静脈）
観血的動脈圧測定と圧波形の解釈
パルスオキシメトリーとその解釈
カプノグラムの計測とその解釈
呼吸機能検査とその解釈

d. 治療

輸液管理：投与経路の確保，製剤の選択，投与速度の調節
薬物療法：投与方法の選択，投与量の決定，投与速度の調節，副作用への対処
輸血療法：血液製剤の選択，投与量の決定
気道確保：フェイスマスク法，気管挿管，ラリンジアルマスク挿入
呼吸管理：用手換気，人工換気，換気量の調節
循環管理：血圧異常への対処，脈拍異常への対処，不整脈への対処
体温管理：放熱防止処置，体温異常への対処

神経ブロック：脊髄くも膜下穿刺，硬膜外カテーテル留置
救急蘇生：心マッサージ，除細動器の使用，薬物療法など
集中治療：人工呼吸器の設定，水分補正，栄養管理など
疼痛緩和：治療計画の立案，治療効果の評価など

【研修方略】

() は対応する個別目標番号

1. 病棟での研修Ⅰ：麻酔前診察 (1, 2, 4, 10)
2. 病棟での研修Ⅱ：麻酔後診察 (1 2)
3. 手術室での研修：麻酔の実践 (3, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11)
4. カンファレンスⅠ：麻酔前の症例検討 (1, 2)
5. カンファレンスⅡ：麻酔後の症例検討 (1 2)
6. 自己学習：レポート作成 (3, 6, 7)

【研修評価】

1. 指導医による観察：診療状況およびレポート内容から評価
2. EPOCシステムによる評価

救急

【一般目標】

日常臨床の場で頻度の高い救急疾患に適切に対処できる能力を養う。

【個別目標】

1. バイタルサインが取れる。
2. 重症度の判定ができる。
3. 緊急度が判断できる。
4. 救命のための治療手技ができる。
5. 診断に必要な検査を選択できる。
6. 症状から初期の鑑別診断ができる。
7. 専門医にコンサルテーションできる。

【研修内容】

a. 対象となる症状

意識障害
痙攣発作
ショック
呼吸困難
胸痛
急性腹症
消化管出血
外傷

b. 治療手技

血管確保

気道確保
気管内挿管
除細動
心臓マッサージ
外傷処置

【研修方略】

1. 日中の救急当番（上級医とのペア）（1～6）
2. 当直（上級医とのペア）（1～6）
3. 麻酔科研修（2, 3）

【研修評価】

1. EPOC システムによる経時的評価
2. 指導医による観察

小児科

【一般目標】

1. 小児科の特徴である成長・発達を念頭に置き、主要な症状・所見の病態生理を修得する。
2. 小児の代表的疾患の診断、治療、予防の基本的技能を修得する。
3. 小児の救急疾患の特性を知り、年齢と重症度に応じた適切な処置を研修する。

【個別目標】

1. 児の人格と人権を尊重できる。
2. 患者およびその家族と好ましい信頼関係を作り、説明と同意を基本的態度として患者およびその家族に対して教育できる。
3. 患児およびその保護者から有用な病歴を得ることができる。
4. 年齢的特性、全身を考慮した正しい手技による診察ができる。
5. 小児に主要な症状・所見の病態生理を修得する。
6. 代表的疾患の性・年齢・重症度に応じた適切な治療計画を速やかにたて、実施できる。
7. 発達薬理学的特性を理解し、小児の一般的薬剤を処方、服薬指導できる。
8. 小児の成長と発達の基本を理解し評価できる。
9. 診療録の記載は、POMR を基本とし、退院要約を適切に作成できる。
10. 基本的診療技能（注射、静脈点滴、採血、導尿、腰椎穿刺、骨髄穿刺、胃洗浄等）を修得する。
11. 基本的臨床検査を自ら実施し理解できる。（心電図、脳波、内分泌負荷試験等）
12. 基本的画像診断を自ら実施あるいは指示し理解できる。（胸部・腹部・頭部・四肢 X 線・CT・MRI・IVP・VCG、上部消化管造影、心・腹部エコー等）
13. 小児の救急疾患の特性を知り、重症度を的確に判断し、速やかに適切な処置ができる。
14. 小児に必要な予防接種を理解し実施できる。経験症例をまとめ考察し呈示できる

【研修内容】

1. 指導医について一般外来診察を行う。(週 2 回)
2. 専門外来(神経、免疫・アレルギー、循環器)を適宜見学し、指導医について各分野の知識を深める。(週 2-3 回)
3. 予防接種外来、乳児健診外来につく。(週 1-2 回)
4. 小児科一般病棟で、指導医とともに 5 名程度の受持ち医となり診療にあたる。(毎日)
5. 新生児病棟で、指導医について新生児診療にあたる。(毎日)
6. 日勤帯の救急外来で、指導医について救急診療にあたる。(毎日)
7. 指導医について週に 1-2 回の当直を行い、夜間・祭日の救急外来、病棟診療を研修する。
8. 小児科抄読会・小児科病棟カンファレンス(週 1 回)、小児科勉強会(月 1 回)に参加する。
9. 院内学術講演会、CPCに参加する。
10. 院外の学会・研究会等に参加、発表する。

小児科週間スケジュール

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月曜日	病棟回診						乳児健診			勉強会		
火曜日	病棟回診						循環器					
水曜日	外来						予防接種・神経					
木曜日	病棟回診						アレルギー外来			抄読会		
金曜日	病棟回診						乳児健診					
土曜日	病棟回診											

【研修方略】 () は対応する個別目標番号

1. ガイダンス: インフォームド・コンセント・院内感染対策・抗生剤療法等(1~4, 6, 7)
2. 病棟での研修(上級医とペアで担当医となる)(1~13)
3. 外来での研修(上級医の指導下で新患者・救急患者を担当する)(1~14)
4. カンファレンス: 症例発表(1, 5)
5. 検査室実習: 末梢血検査・心電図・超音波・CT 読影(11)
6. 抄読会(1, 5)

【研修評価】

1. 導医による観察(カンファレンスにおける発表の評価など)
2. EPOC システムによる経時的評価

産婦人科

【一般目標】

1. 妊娠・分娩経過について理解する。
2. 産婦人科救急疾患のプライマリ・ケアについて理解し実施できる。
3. 新生児の診察及びプライマリ・ケアについて理解し実施できる。

【個別目標】

1. 問診及び産婦人科診察
 - ・産婦人科診療の問診、基本的な診察が行えて、診断し、その説明が出来る。
 - ・緊急性を要する疾患に関しては指導医に委ねる状況を的確に判断できる。
2. 産婦人科検査、診断
 - ・内診、外診、超音波検査（経腹・経膈）、細胞診など
 - ・診察に必要な検査を実施あるいは依頼できる。
 - ・検査結果について評価・説明が出来る。
 - ・診断への所見の理解
3. 産婦人科治療
 - ・正常分娩・産褥の管理ができる。
 - ・帝王切開の介助ができる。
 - ・分娩時などの急変時に対応がとれる。
 - ・流産処置、切迫早流産の治療ができる。
 - ・婦人科手術（腹式・膈式子宮単純全摘術など）の介助。
 - ・悪性腫瘍の治療、癌の化学療法、薬の理解や副作用対策
4. その他
 - ・不妊症・更年期障害などの婦人科特有の内分泌疾患の理解を深める。
 - ・薬剤、放射線、その他の要因の胎児・新生児への影響について理解を深める。

【研修内容】

- a. 診察手技：問診、一般身体所見、内診・外診
- b. 検査手技
 - 細胞診・組織診の実施方法
 - 超音波検査（腹部・経膈）、羊水穿刺、ダグラス窩穿刺
 - 胎児心拍モニター検査
 - MRI・CT検査、
- c. 治療手技
 - 分娩介助(正常分娩)、分娩介助助手（異常分娩）
 - 婦人科処置（内診台）、使用する器具の理解
 - 手術介助

【研修方略】

1. 希望者においては、二年目研修予定である産婦人科での研修を一年目に2ヶ月、前倒しで研修することを可とする。

2. 指導医の下、産婦人科外来診療に携わる。
3. 指導医とペアとなって病棟の患者の主治医となる。
4. 適宜、分娩時には立ち会い、更には直接の分娩介助を指導医と共に行う。
5. 産婦人科手術の助手として参加する。
6. 少なくとも週1回は指導医と共に当直を行い、分娩・緊急手術及び産婦人科救急患者の診察・治療を行う。
7. 毎日、主治医としての担当患者の回診と週1回は総回診に参加する。
8. 院内の医局会・C P Cなどに参加する。
9. 産婦人科の学会などに出席する。

【研修評価】

1. 指導医による観察・口頭試問
2. EPOCによる評価

精神科

【一般目標】

精神科診療の基本とその特殊性を理解し診療にあたることを習得する。

【個別目標】

1. 病歴の取り方と記載の仕方の習得
2. 精神医学的面接のすすめ方の習得
3. 基本的精神状態像と主要な精神障害を理解できる。
4. 基本的な精神科薬物療法ができる。
5. 精神保健福祉法の概略を理解できる。
6. チーム医療が進められる。
7. 家族への対応ができる。
8. 入院と退院の時期の判断ができる。
9. 心理検査の進め方と解釈ができる。
10. 人権への配慮ができる。

【研修内容】

- a. 主な精神状態像： 神経症様状態（不安、恐怖、心気、強迫、解離、転換、離人）
抑うつ状態、躁状態、幻覚妄想状態、精神運動興奮状態
昏迷状態、意識障害、知能障害、人格の病的状態
- b. 主な精神障害： 器質性精神障害、精神作用物質関連障害、総合失調症（精神分裂病）、気分（感情）障害（うつ病、躁うつ病を含む）
神経症性障害、人格障害
- c. 主な検査法： 臨床心理検査（知能検査、性格検査）、神経心理学的検査
脳波検査、頭部C T・MRI検査
- d. 主な治療法： 個人精神療法、精神科薬物療法、心理社会療法

【研修方略】

1. 精神科臨床について5回の小講義を行う。（精神科診療の心得と精神保健福祉法、精神診断学と国際分類、主要な精神障害、精神科薬物療法、心理社会療法等）
2. 入院診療：5A病棟に配属し、指導医のもとに5名前後の患者を受け持つ。
3. 外来診療：週3回指導医と新患を診察する。うち1回はもの忘れ専門外来とする。
4. 病棟当直：週1回当直医として当直指導医から精神科救急医療の指導を受ける。
5. 身体合併症対応：精神科病院からの身体合併症例の受入を指導医とともに行う。
6. 病棟カンファランス等：週1回の回診・症例検討会、月2回の勉強会等に参加する。

【研修評価】

1. 指導医による評価
2. EPOCによる評価

地域医療

地域医療研修は、横浜市内保健所、神奈川県立診療所（藤野・青野・千木良）にて行う。

それぞれ、各協力施設のプログラムで実施する。

選択科研修要項

脳神経外科

【一般目標】

プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけるため代表的な脳神経外科疾患に関する診察法、検査、手技、術前・術後管理等を経験する。

【個別目標】

1. 代表的な脳神経疾患の患者を診察し、正確に神経学的所見がとれる。
2. 種々の症候・症状を呈する疾患を列挙できる。
3. 鑑別診断に必要な検査法の適応を判断し、選択できる。
4. 基本的な検査法の手順を理解し、指導医の下で実施できる。
5. 検査結果を的確に解釈し、鑑別診断を下せる。
6. 代表的な脳神経外科疾患の適切な術前・術後検査と治療計画が立てられる。
7. 代表的な脳神経外科疾患の術前・術後管理ができる。
8. 主な脳神経外科手術の術式を理解し、各症例の手術適応を理解できる。
9. 検査・治療に関する適切なインフォームド・コンセントが理解できる。
10. 手術所見を正確に把握し、術式の選択が理解できる。
11. 術後合併症の予防と後遺症の予測、その治療について理解できる。
12. 神経学的脱落症状に対して、適切なリハビリテーション計画が立てられる。
13. 肢体不自由の医療を経験し、患者と家族の心のケアの必要性を理解できる。
14. 退院後に必要な療養、公的扶助の利用法について理解できる。

【研修内容】

a. 研修対象疾患

頭部外傷・脳血管障害・脳腫瘍・神経系の先天奇形
脊椎・脊髄疾患（主として頸椎レベル）

その他：変性疾患・不随意運動（顔面けいれん・眼瞼けいれん）など

b. 診察手技

神経学的診断法

c. 検査手技・結果の理解

血液・脳脊髄液の採取と結果の解釈

CT・MRI・SPECT・頭部単純X線の読影

脳血管撮影の適応と手技の理解、読影

d. 治療

保存的治療：輸液、薬剤など

手術療法：根治的、姑息的それぞれの適応、合併症、予後などの理解

免疫・化学療法：適応と手順、副作用の理解

放射線療法：分割照射、γナイフの適応と合併症の理解

重症例に対する集学的治療：呼吸、循環、障害臓器の管理と治療

リハビリテーション：適応、プログラムとゴールの設定

【研修方略】

LS	SBO 番号	方法	場所
1	1, 3, 5, 6, 9	研修	外来診察室
2	1, 3, 5~9, 11~14	研修	病棟
3	4	研修	病棟・検査室
4	2, 3, 5, 8	講義	カンファレンスルーム
5	8, 10, 11	研修	手術室
6	6, 11~14	研修	リハビリテーション室

【研修評価】

- 1 指導医による観察記録・口頭試問・レポート
- 2 EPOC システムによる形成的および総括的評価

整形外科

【一般目標】

最近の厚生労働省統計によると、外来受診者数は消化器疾患 19%、循環器疾患 15% に次いで、運動器疾患は 13% と第 3 位であることからわかるように、運動器に障害を有する国民が増加している。なかでも高齢人口が増加する中で、骨粗鬆症、変形性関節症などによって骨・関節機能に何らかの障害を有する高齢者の増加が著しい。整形外科臨床研修では、研修の「到達目標」である「医療人として必要な基本的姿勢と態度、すなわち（1）患者—医師関係、（2）チーム医療、（3）問題対応能力、（4）安全管理、（5）医療面接、については必修科目の研修で習得されているわけであり、この基本的な研修成果の上に短期間ではあるが、整形外科に特有の検査法、疾患の病態、診断手順、治療における考え方、基本手技を習得する。引き続き整形外科を専攻する場合には入門的な研修の場となる

【個別目標】

1. 整形外科的診察法の習得：関節可動域、徒手筋力検査法など
2. 検査法の習得：単純 X 線、CT、MRI、シンチグラム、断層 X 線、筋電図、脊髄・関節造影検査など
3. 代表的な整形外科疾患の理解。
外傷性疾患：骨折、脱臼、捻挫、腱断裂
関節疾患：変形性関節症、肩関節周囲炎、関節リウマチ
脊椎及び脊髄疾患：椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、変形性脊椎症
感染性疾患：化膿性関節炎、骨髓炎、化膿性脊椎炎、骨関節結核
先天性疾患：先天性股関節脱臼、斜頸、内反足
代謝, 変性疾患：痛風、骨粗鬆症
腫瘍性疾患：良性及び悪性腫瘍
血管性疾患：糖尿病性壊死、ASO、TAO
4. 基本的処置法の習得。

創傷処置、デブリードマン、ギブス・シーネ固定、各種スプリント固定
直達牽引、介達牽引、関節穿刺、関節注射

5. 基本的治療法の習得。

骨折や脱臼の徒手整復及び固定、各種保存療法、各種手術療法、リハビリ療法

6. 整形外科的リハビリテーション法の習得。

代表的整形外科疾患に対する運動療法と理学療法、術前および術後のリハビリテーション

【研修方略】

1. 週2回程外来にて指導医のもとに外来診療および処置を担当する。
2. 病棟にて入院患者の受け持ち医となり指導医のもとに診療にあたる。
3. 検査室にて整形外科的特殊検査の担当または介助にあたる。
4. 手術室又は外来処置室に指導医のもと簡単な手術手技を習得する。
5. 手術の助手を務める。
6. 各種のカンファレンスに参加し研修成果の発表、症例検討を行う。

【研修評価】

1. 指導医による観察記録・口頭試問・レポート
2. EPOC システムによる形成的および総合評価

眼科

【一般目標】

1. 各種眼科疾患を理解する。
2. 眼科の基本的診察ができる。
3. 主要な眼科検査法を学ぶ。

【行動目標】

1. 各種眼科検査・診断法ができる。
視力・屈折検査、眼位、眼球運動の検査、細隙灯顕微鏡検査、眼圧検査、眼底検査、視野検査、蛍光眼底造影検査など
2. 眼科基本処置を習得する。
点眼、洗眼、涙嚢洗浄など
3. 眼科救急処置ができる。
各種眼科疾患について理解を深め、基本的対処法を学ぶ。
4. 感染症（得に流行性角結膜炎）に対する対処が適切に行える。
5. 外眼部疾患の基本手技、顕微鏡下手術、光凝固術に対する理解を深める。また、周術期管理について学ぶ。

【研修方略】

1. 指導医の下に外来診療を担当する。
2. 病棟にて指導医と共に入院患者の主治医となり、診療に携わる。
3. 眼科検査、処置に習熟する。
4. 眼科手術の助手として参加する。

5. 当直を行い、眼科救急の基本処置ができるようにする。
6. 院内・外の各種カンファレンス、研究会、学会に参加・発表する。

* 眼科スケジュール

午前：外来診療

午後：各種検査、手術（手術は週2日）

【研修評価】

1. 指導医による観察
2. EPOCによる。

耳鼻咽喉科

横浜市立みなと赤十字病院耳鼻科は日本で唯一のめまい、平衡領域の専門耳鼻科であり、めまい診療を柱に年間1000症例以上が入院する環境である。

【一般目標】

耳鼻咽喉科の領域疾患、つまり感覚情報器官という特殊性と呼吸器、消化器疾患との関わりが深い領域であることを考えながら、その特殊性を把握し、治療方針をたてることができるようにする。

【行動目標】

1. 耳鼻、咽喉の所見を額帯鏡と耳鼻咽喉科の各種医療器具を用いて所見を取れるようにする。
2. 代表的疾患の診断と治療ができるようにする。（別項a）
3. 検査の実施と所見判定をできるようにする。
4. 基本的手術に関して習得させる。

【研修方略】

1. 指導医の下で外来診療、検査、処置に携わる。
2. 指導医の下で入院患者診療、検査、処置に携わる。
3. 手術の助手として経験を積ませる。
4. 月2回程度の当直を通して、救急患者の治療を学ぶ
5. 病棟CRでの講義
6. 研究会、症例検討会での発表
7. 地方部会に参加、発表する機会を設ける。

* 週間および一日のスケジュール

7:30～9:00 入院患者の処置、診療

9:00～外来診療

15:00～めまい検査、めまい入院患者の治療、リハビリ

水曜日：手術

【研修評価】

1. 指導医による観察記録、レポート、口頭試問
2. EPOCシステムによる評価

皮膚科

【一般目標】

一般医に求められる皮膚科学の習得、すなわち

1. 日常診療でよく遭遇する皮膚疾患の診断と治療ができる。
2. 皮膚科専門医に紹介すべき疾患を適切に診断することができる。

【個別目標】

1. 皮膚科の基本診断学、検査法を習得する
問診の手順の理解と、必要事項の的確な記載
皮疹の正確な記述、代表的な皮疹の鑑別
診断に必要な検査法の理解と実施
2. 普遍的疾患の診断ができる
3. 基本的な治療を実施できる

【研修内容】

a. 研修対象疾患

湿疹・皮膚炎、蕁麻疹・痒疹・掻痒症、紅斑・紫斑群、熱傷・葉疹・中毒疹
皮膚潰瘍・褥瘡、水疱症、炎症性角化症、膠原病および類症、色素異常症
皮膚腫瘍、母斑、ウイルス・細菌・真菌感染症、付属器疾患（汗器官・脂腺・毛
髪・爪甲）、寄生虫症・動物性皮膚疾患、性感染症、全身疾患と皮膚

b. 検査手技・結果の理解

理学的検査、アレルギー検査、皮膚生検、真菌検査（鏡検、培養）など

c. 基本的治療

全身療法

外用療法およびスキンケア

光線療法

冷凍凝固法

低出力レーザー療法

皮膚外科手術

【研修方略】

1. 午前中は毎日外来診療に立ち会い見学する。検査・皮膚処置の介助をする。研修期間後半では指導を受けながら外来診療に携わる。
2. 病棟では入院患者の主治医グループの一員として、指導医のもとに診療にあたる。
3. 主治医の患者・患者家族に対する病状・手術の説明に同席する。
4. 皮膚処置・包交を担当する。
5. 手術の助手を行う。研修期間後半では執刀も行う。
6. 皮膚科学会地方会などの院外活動にも参加する。

【研修評価】

1. 指導医による観察評価
2. EPOC システムによる経時的評価

皮膚科週間スケジュール

	9	10	11	12	13	14	15	16	17
月曜日		外来診療＋病棟回診					手術、パッチテスト		
火曜日		外来診療＋病棟回診					外来診療		
水曜日		外来診療＋病棟回診					手術、パッチテスト		
木曜日		外来診療＋病棟回診					手術（中央手術室）		
金曜日		外来診療＋病棟回診					外来診療		
土曜日		外来診療＋病棟回診							

泌尿器科

【一般目標】

- ・泌尿器科の代表的疾患を理解し、基本的な診断法、治療法を学習する。
- ・泌尿器科における救急疾患とその初期対応を学ぶ。
- ・患者との信頼関係を築くために何が必要かを学ぶ。

【個別目標】

1. 代表的な泌尿器科疾患患者を診察し、正確に所見が取れる。
2. 泌尿器科に必要な検査の意義を理解し、検査指示を適切に選択出来る。
3. 泌尿器科に必要な検査の結果を正確に解釈出来る。
4. 泌尿器科の基本的な検査法の手順を理解し、自ら実施、あるいは指導医の下で実地出来る。
5. 基本的な泌尿器科疾患の治療法を理解し、適切な術前・術後検査と治療計画が立てられる。
6. 代表的泌尿器科疾患の術前・術後管理が出来る。
7. 主な泌尿器科手術術式を理解し、各症例の手術適応を理解出来る。
8. 術後合併症の予防と治療について理解出来る。
9. 終末期医療を経験し、患者と家族の心のケアの必要性を理解出来る。
10. 退院後に必要な療養に関して理解出来る。
11. 症例報告、発表が出来る。

【研修内容】

a. 研修対象疾患

尿路性器感染症・尿路結石症・尿路性器腫瘍・種々の排尿障害・腎不全・尿路性器の外傷・尿路性器先天異常・男性不妊・性機能不全など

b. 診察手技

腹部・外陰部の診察（視・触診）

前立腺触診

c. 検査手技・結果の理解

尿沈渣・腎機能検査・精液検査・内分泌検査・CT/MRI・核医学検査・KUB / IVP・膀胱尿道撮影・膀胱造影・経腹的超音波検査（腎、膀胱、前立腺、陰嚢内臓器）・血管造影・逆行性腎盂造影・膀胱鏡検査・経直腸的超音波検査・尿流動態検査

d. 治療

保存的治療：導尿・膀胱洗浄・尿管カテーテル/ステント挿入・腎瘻・膀胱瘻造設
手術療法：開腹手術・腹腔鏡手術・内視鏡手術

化学療法：適応、手順、合併症の理解

放射線療法：適応、副作用の理解

重症疾患に対する集中治療：尿路管理と呼吸・循環障害との同時管理

【研修方略】

	8:30	9:00	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
月曜日	morning conference	病棟回診・結石破砕				結石破砕・検査							
火曜日	morning conference	病棟回診・結石破砕				手術							
水曜日	morning conference	病棟回診				検査							
木曜日	morning Conference	病棟回診				検査				他施設との合同			
金曜日	morning conference	病棟回診				手術							
土曜日	morning conference	病棟回診（学会・研究会参加）											

【研修評価】

1. 指導医による観察記録・口答試問・レポート
2. EPOCシステムによる形成的および総括的評価

放射線科

【一般目標】

臨床医として必要とされる画像診断及び放射線治療の基本的知識を身につける。

【個別目標】

1. 単純X線写真、CTの撮影を適切に指示できる。
2. 各種造影剤の適応と副作用を理解し、副作用発現時に対処することができる。
3. CTとMRIの主要変化を指摘できる。
4. 放射線の人体に対する影響と防護について述べるができる。

5. 放射線治療の適応について述べるができる。
6. 核医学検査の主な種類を述べるができる。

【研修方略】

1. 病診連携患者の病歴聴取・作成を行う。
2. CT と MRI の読影を指導医と共に行う。
3. 指導医と共に放射線治療の患者の診察を行う。
4. 核医学検査の読影を指導医と共に行う。

【研修評価】

1. EPOC システムによる。
2. カンファレンスでの発表。

形成外科

【一般目標】

形成外科とは「先天性または後天性の身体外表の形や色の変化（醜状）を対象とし、外科手技によって機能と形態解剖学的に正常にすることを手段として、個人を社会適応させることを目的とする」と教科書的には定義されている。一般的な認識としては、形成外科はキズアトを目立たなくする診療科である、といったところであろう。しかし、大学での独立講座が少なく、形成外科の講義も整形外科や皮膚科の中の 1 コマ程度しかない場合もあり、医療関係者でも明確な認識がなされていない現状がある。形成外科臨床研修では、形成外科の基本的な手術手技から応用、他科との関わりを通して、現代医療の中にある広範な形成外科の守備範囲を理解してもらうことを目標とする。引き続き形成外科を専攻する場合には入門的な研修の場となる

【個別目標】

1. 形成外科的診察法の習得：創傷・熱傷創の程度、顔面骨骨折の有無など。
2. 検査法の習得：術前検査、皮膚・軟部腫瘍の触診、XP、CT、MRI など。
3. 代表的な形成外科疾患の理解：

① 新鮮熱傷	② 顔面骨骨折、顔面軟部組織損傷
③ 唇裂・口蓋裂	④ 手足の先天異常・外傷・変形
⑤ その他の先天異常	⑥ 母斑・血管腫・良性腫瘍
⑦ 悪性腫瘍・それに関する再建	⑧ 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド
⑨ 褥瘡・難治性潰瘍	⑩ 美容外科
4. 基本的処置法の習得：
創傷処置、デブリードマン、ステロイド注射など。
5. 基本的治療法の習得：
皮膚縫合、植皮、簡単な皮弁など。

【研修方略】

1. 外来にて指導医のもとに外来診療および処置を担当する。
2. 病棟にて入院患者の受け持ち医となり指導医のもとに診療にあたる。

3. 検査室にて形成外科的特殊検査の担当または介助にあたる。
4. 手術室又は外来処置室に指導医のもと簡単な手術手技を習得する。
5. 手術の助手を務める。
6. 各種の研究会、学会に参加し、症例報告や臨床研究成果の発表を行う。

【研修評価】

1. 指導医による観察記録・口頭試問・レポート
2. EPOC システムによる形成的および総合評価

緩和ケア科

【一般目標】

悪性腫瘍患者の身体的特徴と精神的特徴を理解し、症状緩和のための基本的技術を習得する。

【個別目標】

1. 緩和ケアにおける全人的視点を理解し、個々の症例に応用できる
2. 患者および家族と話し合いながら、終末期の療養計画を立てることができる
3. 癌性疼痛の評価を行い、治療計画を立てることができる
4. 悪性腫瘍に伴う疼痛以外の各種症状の評価を行い、治療計画を立てることができる
5. 聞き手の心理面に配慮しながら、患者および家族に対して病状や今後予想される経過について説明できる

【研修内容】

- a. 研修対象疾患：各種悪性腫瘍
- b. 基本的治療：オピオイドをはじめ各種鎮痛薬の使用、その他の各種薬物療法

【研修方略】

1. 指導医の下で入院患者の診療に携わる
2. カンファレンスでの症例提示
3. 指導医による講義
4. 抄読会

【研修評価】

1. 指導医による観察
2. EPOC システムによる評価

I 医療提供計画書

「6 外部委託」

(1) 外部委託業務

(医療法施行令に基づく8業種等)

6 外部委託

(1) 外部委託業務

	委託業務の名称	委託期間	主な業務内容	受託者	
1	食事療養提供業務	H21.4～ H22.3	患者用給食の調理、給食材料管理補助、食器洗浄等衛生管理補助、配膳・下膳業務	会社名	ハーベスト株式会社
2	中央滅菌材料室・手術室器材の洗浄・滅菌業	H21.4～ H22.3	使用済器材の回収・洗浄・滅菌・供給業務	会社名	日本ステリ株式会社
3	検体検査業務	H21.4～ H22.3	検体検査業務	会社名	株式会社エスアールエル
4	患者用ベッド洗浄業務	H21.4～ H22.3	ベッド等の清拭・定期点検業務	会社名	株式会社柴橋商会
5	寝具賃貸借及び洗濯業務	H21.4～ H22.3	患者用寝具・職員当直用寝具賃貸借契約洗濯業務	会社名	株式会社カビーム・ランドリー
6	白衣等リース業務	H21.4～ H22.3	白衣のリース契約	会社名	株式会社柴橋商会
7	白衣等賃貸業務契約書	H21.4～ H22.3	白衣・患者用病衣のリース契約	会社名	株式会社カビーム・ランドリー
8	医薬品院内物流管理業務	H21.4～ H22.3	購買管理補助業務 薬品在庫管理業務 配置定数薬の補充管理業務 搬送業務 等	会社名	東邦薬品株式会社
9	医事関連業務	H21.4～ H22.3	外来部門の計算・受付・クレーン業務及び保険請求関連業務	会社名	株式会社アイ・エム・ビー・センター
10	院内保育所運営業務	H21.4～ H22.3	職員子女の保育業務	会社名	株式会社ボビンス・コーポレーション
11	SPD物流管理サービス業務	H21.4～ H22.3	医療材料の物流管理業務	会社名	丸紅ホスピタルパートナーズ株式会社
12	施設管理	H21.4～ H22.3	施設設備の運転及び点検業務と院内外の警備業務	会社名	株式会社丸誠
13	警備業務	H21.4～ H22.3	院内外の警備業務	会社名	国際警備株式会社
14	清掃業務 (B1F～8F)	H21.4～ H22.3	外回り外来部門・病棟・手術室・事務室等清掃業務	会社名	新東産業株式会社
15	産業廃棄物処理業務	H21.4～ H22.3	院内から出されるゴミの収集運搬及び処理業務	会社名	株式会社神奈川保健事業社
16	一般廃棄物収集運搬業務	H21.4～ H22.3	院内から出されるゴミの収集運搬及び処理業務	会社名	株式会社神奈川保健事業社
17	感染性廃棄物収集運搬処理業務	H21.4～ H22.3	院内から出される感染性廃棄物の収集運搬及び処理業務	会社名	有限会社トキワ薬品化工
18	医薬品(医療ガス)供給業務	H21.4～ H22.3	医療用液体酸素・医療用液体窒素・医療用酸素ガス等の供給業務	会社名	株式会社イワサワ
20	ナースコール設備保守点検	H21.4～ H22.3	ナースコール設備保守点検	会社名	株式会社ケアコム
21	院内ネットワークシステム保守点検	H21.4～ H22.3	院内LANシステム保守点検	会社名	富士ビロックス神奈川株式会社
22	自動尿測定システム保守点検	H21.4～ H22.3	自動尿測定システム保守点検	会社名	円田医科工業株式会社

I 医療提供計画書

「7 情報管理」

(1) 管理責任体制・安全対策等

7 情報管理

(1) 管理責任体制・安全対策等

ア 横浜市立みなと赤十字病院情報システム運用管理規程(20年度事業計画に同じ)

イ 安全対策

サーバー室の管理(入退室の規制)、防災防犯対策

☆サーバー室の入退室管理については、出入管理システムにより個別カードを用いて入室が制限しております。

また、サーバー室の隣に医療情報事務室があり事務室内を通らなければ、サーバー室に入室することは出来ず、さらに事務室内には24時間365日人員の配置をしており防災及び防犯に努めています。

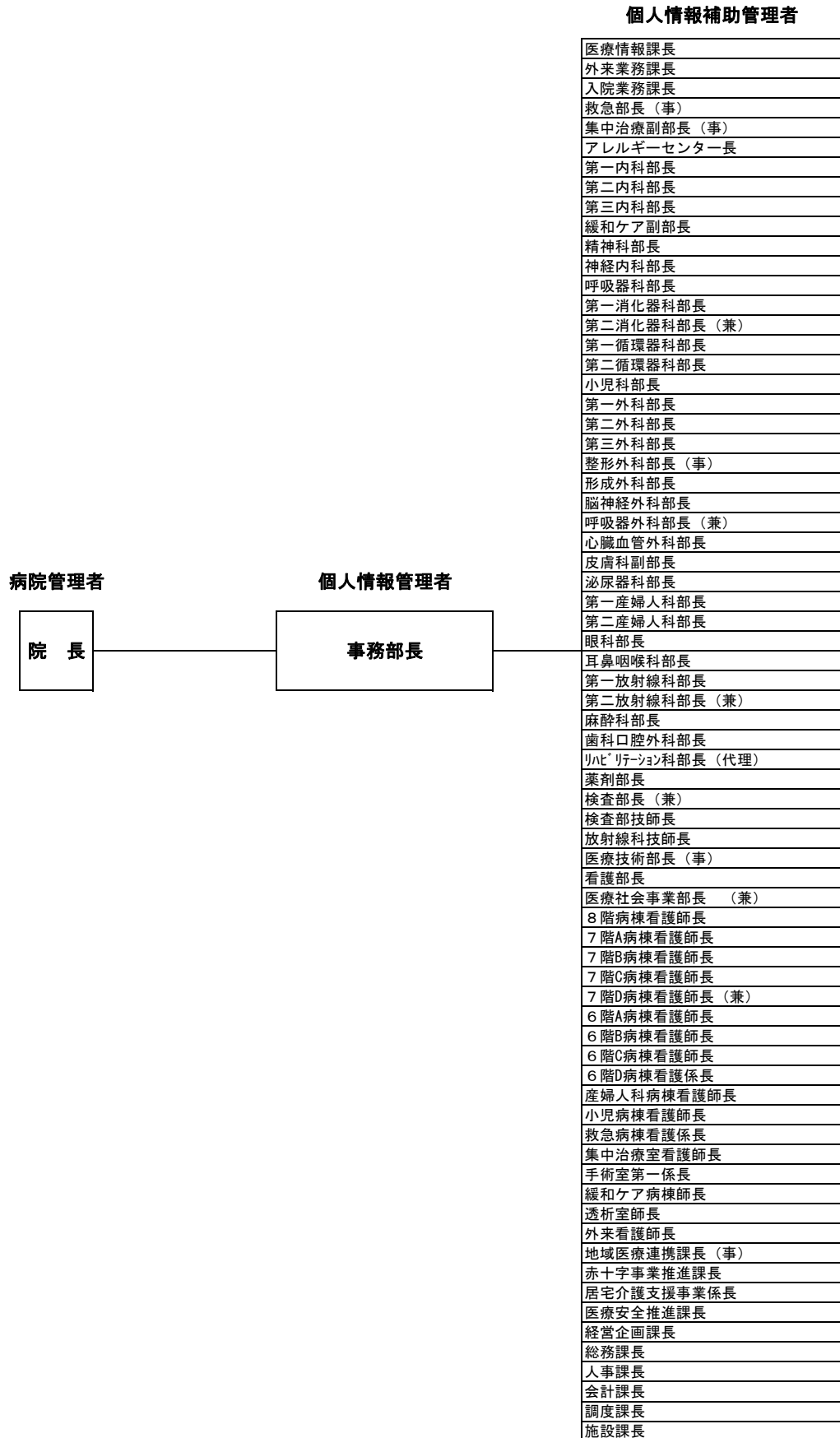
ウ 個人情報の管理責任体制(別添参照)

エ アクセス管理(職種別権限については別添職種別権限一覧参照)

利用者IDとパスワード管理

- (ア) 利用者は、初期登録時において運用責任者より封印した紙で配布された中のパスワードを一時利用し、有効期限までに自らのパスワードを「パスワード変更ツール」にて設定する。
- (イ) 自分のパスワードは、決して他人又は他のグループに口外しない。
- (ウ) パスワードを紙などに記述して記録しない。
- (エ) パスワードをファンクションキーなどに登録しない。
- (オ) 自分の利用者IDとパスワードを他の者に教えることにより、システムの利用権限を他人に貸与しない。
- (カ) パスワードは、以下の条件で付与する。
 - a パスワードに使用するキャラクタは、アルファベット(大文字・小文字)、数字をそれぞれ最低限1文字以上用い4文字以上で使用する。
 - b 通常システムにログインする際には、パスワードを利用する。
- (キ) パスワードには、以下のような推測可能な用語を設定してはならない。(パスワードの禁則)
 - a 年月日、曜日、その他日付に関するもの
 - b 姓名、名、イニシャル、ニックネームなど
 - c 医療機関名、部署名、それらに関するもの
 - d 電話番号やそれに類似するもの
 - e ユーザ識別子、ユーザネーム、グループID、他のシステムの識別子
- (ク) 利用者のパスワードは、登録してから有効期限の60日が経過する日までに新しいパスワードに変更する。

横浜市立 みなと赤十字病院 個人情報管理体制組織図（案）



横浜市立 みなと赤十字病院 組織図

	部 長	副部長・技師長	課長・看護師長	係 長
	救急部長(事) 小森 博達	救急副部長		
	集中治療部(事) 小森 博達	集中治療副部長		
	アレルギーセンター科部長 中村 陽一			
	第一内科部長 川満 久恵	第一内科副部長		
	第二内科部長 渡辺 孝之	第二内科副部長		
	第三内科部長 山本 晃			
	緩和ケア部長(兼) 小尾 芳郎	緩和ケア副部長		
	精神科部長 石束 嘉和			
	神経内科部長 田中 宏明			
	呼吸器科部長 田ノ上 雅彦	呼吸器科副部長		
	第一消化器科部長 有村 明彦			
	第二消化器科部長(兼) 有村 明彦			
	第一循環器科部長 沖重 薫			
	第二循環器科部長 畔上 幸司			
	小児科部長 川野 豊			
	第一外科部長 阿部 哲夫	第一外科副部長		
	第二外科部長 小尾 芳郎			
	第三外科部長 長堀 優			
	整形外科部長(事) 小森 博達	整形外科副部長		
	形成外科部長 伊藤 理			
	脳神経外科部長 持松 泰彦	脳神経外科副部長		
	呼吸器外科部長(兼) 田淵 典之			
	心臓血管外科部長 田淵 典之			
	皮膚科部長 欠	皮膚科副部長		
	泌尿器科部長 岩崎 皓	泌尿器科副部長		
	第一産婦人科部長 若月 雅美			
	第二産婦人科部長 多田 聖郎			
	眼科部長 椎野 めぐみ			
	耳鼻咽喉科部長 新井 基洋	耳鼻咽喉科副部長		
	第一放射線科部長 大谷 洋一	放射線科技師長	放射線診断課長	放射線診断係長
	第二放射線科部長(兼) 大谷 洋一		放射線治療課長	放射線治療係長
	麻酔科部長 西村 一彦			
	歯科口腔外科部長 向山 仁			
	リハビリテーション科部長(代理) 中村 浩	リハビリテーション科副部長	リハビリテーション課長	リハビリテーション係長
	薬剤部長 高橋 弘充	薬剤副部長	調剤課長(兼) 医薬品管理課長	調剤係長 製剤係長 麻薬係長 医薬品情報係長
	検査部長(兼) 渡辺 孝之	検査部技師長	臨床検査課長 病理検査課長	検体検査係長 生理学一係長 生理学二係長 生理学二係長 輸血係長 病理検査係長
	病理部長 欠			
	医療技術部長(事) 小森 博達		医療技術課長 栄養課長	臨床工学係長 視能訓練係長 歯科衛生・技工係長 臨床心理係長 栄養係長(事) 調理一係長 調理二係長
	看護部長 加治木 葉子	看護副部長 看護副部長	8階病棟看護師長 7階A病棟看護師長 7階B病棟看護師長 7階C病棟看護師長 7階D病棟看護師長(兼) 6階A病棟看護師長 6階B病棟看護師長 6階C病棟看護師長 6階D病棟看護師長 6階D病棟看護師長 精神科病棟看護師長 産婦人科病棟看護師長 小児病棟看護師長 救急病棟看護師長 集中治療室看護師長 手術室看護師長 緩和ケア病棟看護師長 透析室看護師長 外来看護師長 夜勤専従看護師長 看護教育係長(兼) 地域医療連携課長(事) 医療社会事業課長 赤十字事業推進課長 訪問看護ステーション長	8階病棟係長 7階A病棟係長 7階B病棟係長 7階C病棟係長 7階D病棟係長 6階A病棟係長 6階B病棟係長 6階C病棟係長 6階D病棟係長 6階D病棟係長 精神科病棟一係長 精神科病棟二係長 産婦人科病棟係長 小児病棟係長 救急病棟係長 集中治療室係長 手術室一係長 手術室二係長 緩和ケア病棟係長 透析室係長 外来係長 夜勤専従係長 看護教育係長 地域医療連携係長 医療社会事業係長 災害看護係長 健診係長 訪問看護ステーション係長 居宅介護支援事業係
	医療社会事業部長(兼) (地域医療連携室) 持松 泰彦	医療社会事業副部長		
	事務部長 岡本 龍太		医療安全推進課長 経営企画課長(兼) 総務課長 人事課長 会計課長 調度課長 施設課長 医療情報課長 入院業務課長 外来業務課長	安全推進係長 サービス係長 企画係長(事) 総務係長 人事係長(事) 職員係長 経理係長 出納係長 調度係長 物品管理係長 物流係長 施設係長 供給係長 医療情報係長 入院係長 病歴係長 外来係長

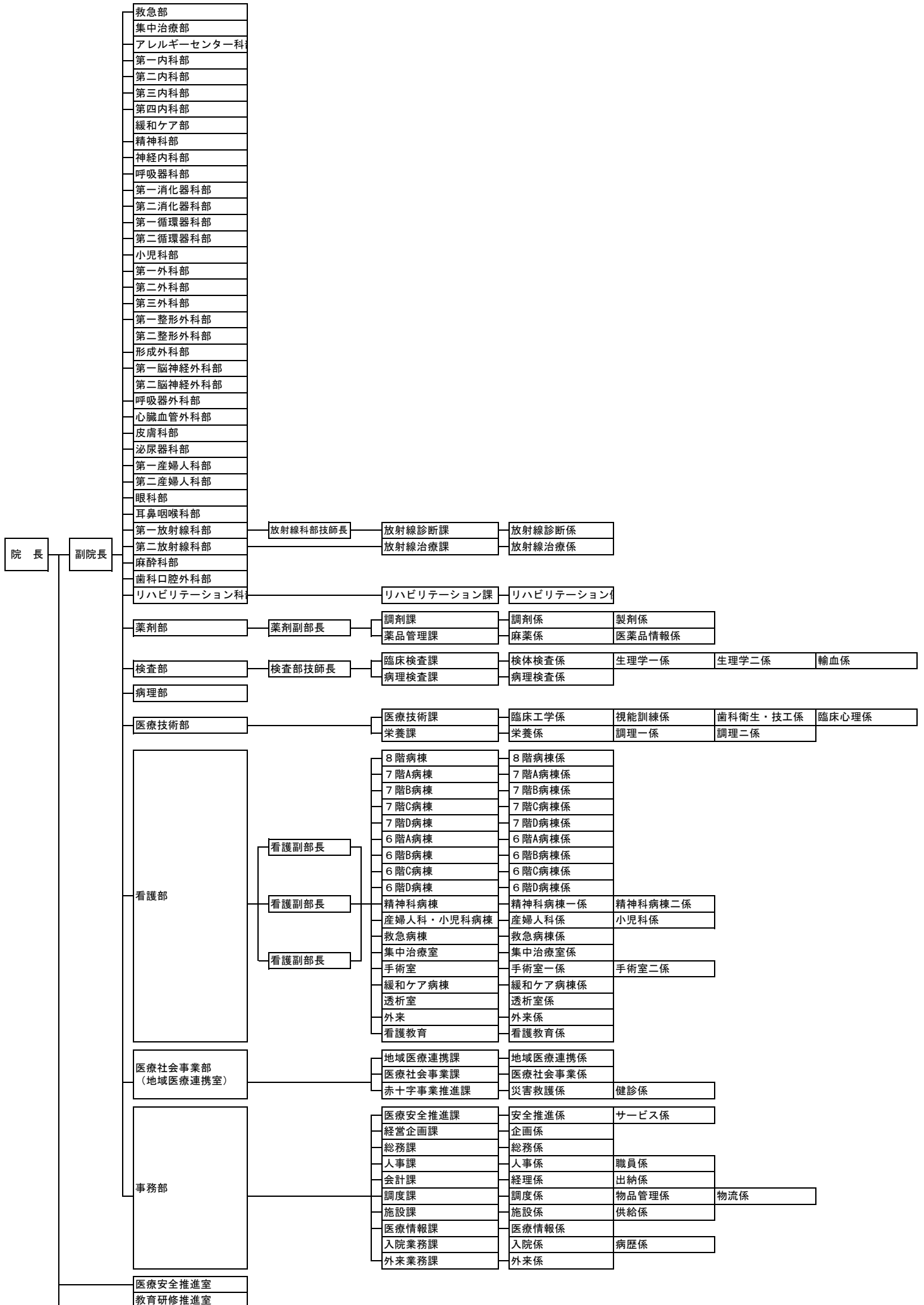
院 長	副院長
西岡 清	小森博達

I 医療提供計画書

「8 職員」

- (1) 組織図・職員配置予定数
- (2) 診療科責任体制
- (3) 看護責任体制
- (4) 中央部門責任体制
- (5) 管理部門責任体制

8 職員
 (1) 組織図・職員配置予定数
 ○ 組織図



(1) 組織図・職員配置予定数

○ 職員配置予定数

職 種	配置予定	内 訳			備 考
		常勤	非常勤	派遣職員等	
管 理 部 門	事 務 職 員	61	61		
	技 術 職 員	8	8		
	調 理 員				
	運 転 手				
	ボイラー技師				
	電 話 交 換 手				
	そ の 他	9	9		MSW 4 PSW 1 Ns 4
診 療 部 門	医 師	147	147		
	歯 科 医 師	2	2		
	事 務 職 員				
看 護 部 門	看 護 師	484	472	12	
	准 看 護 師				
	看 護 助 手	55	55		
	事 務 職 員	18	18		
中 央 部 門	薬 剤 師	18	18		
	診療放射線技師	20	20		
	臨床検査技師	25	25		
	理学療法士	7	7		
	作業療法士	3	3		
	言語聴覚士	2	2		
	心理療法士				
	視能訓練士	2	2		
	歯科技工士				
	歯科衛生士	3	3		
	管理栄養士	4	4		
	栄 養 士				
	臨床工学技士	6	6		
	ケースワーカー				
	事 務 職 員	3	3		
そ の 他	13	13		マッサージ師1 臨床心理士 1 看護師1 調理師1 0	
その他					
合 計	890	878	12		

(2) 診療科責任体制

	部門名	配置予定	職名	氏名
1	救急部	2	診療科部長 副部長	伊藤 敏孝
2	集中治療部	2	診療科部長 副部長	武居 哲洋
3	内科	10	診療科部長 診療科部長 診療科部長 副部長	渡辺 孝之 山本 晃 欠 萩山 裕之
4	呼吸器科	6	診療科部長 副部長	田ノ上 雅彦 河崎 勉
5	消化器科	9	診療科部長 診療科部長 副部長	有村 明彦 有村 明彦
6	循環器科	9	診療科部長 診療科部長 副部長	沖重 薫 畔上 幸司 倉林 学
7	神経内科	3	診療科部長 副部長	田中 宏明 松本 卓
8	緩和ケア部	3	診療科部長 副部長	小尾 芳郎 黒田 俊也
9	アレルギーセンター科	3	診療科部長 副部長	中村 陽一 河野 徹也
10	小児科	9	診療科部長 副部長	川野 豊
11	外科	11	診療科部長 診療科部長 診療科部長 副部長	阿部 哲夫 小尾 芳郎 欠 上向 伸幸
12	呼吸器外科	2	診療科部長 副部長	田淵 典之 下山 武彦
13	心臓血管外科	3	診療科部長 副部長	田淵 典之
14	脳神経外科	4	診療科部長 診療科部長 副部長	持松 泰彦 高木 信 橋本 瑞基
15	整形外科	6	診療科部長 診療科部長 副部長	小森 博達 北原 建彰 浅野 浩司
16	形成外科	2	診療科部長 副部長	伊藤 理
17	皮膚科	3	診療科部長 副部長	欠 宮崎 安洋
18	泌尿器科	5	診療科部長 副部長	岩崎 皓 大内 秀紀
19	産婦人科	7	診療科部長 診療科部長 副部長	多田 聖郎 多田 聖郎 木村 進
20	眼科	3	診療科部長 副部長	椎野 めぐみ
21	耳鼻咽喉科	4	診療科部長 副部長	新井 基洋 佐藤 守彦
22	リハビリテーション科	2	診療科部長 副部長	中村 浩
23	精神科	7	診療科部長 副部長	石束 嘉和
24	放射線科	3	診療科部長 診療科部長 副部長	大谷 洋一 大谷 洋一 遠藤 英穂
25	麻酔科	5	診療科部長 副部長	西村 一彦
26	歯科口腔外科	2	診療科部長 副部長	向山 仁 櫻井 仁享
27	病理部	2	診療科部長 副部長	欠
28	医療社会事業部	1	診療科部長 副部長	持松 泰彦 伊藤 美奈子
29	臨床研修医	21	前期研修 後期研修	16 5
	診療科計	149		

(3) 看護責任体制

	部門名	配置予定	職名	氏名	備考
1	看護部	10	看護部長 副部長	加治木 葉子 3	
2	外来	53	師長 係長	1 1	
3	手術室	27	師長 係長	欠 2	
4	8階病棟	27	師長 係長	1 1	
5	7階A病棟	35	師長 係長	1 1	
6	7階B病棟	30	師長 係長	欠 1	
7	7階C病棟	29	師長 係長	1 1	
8	7階D病棟	29	師長 係長	1 欠	
9	6階A病棟	31	師長 係長	1 欠	
10	6階B病棟	30	師長 係長	欠 1	
11	6階C病棟	50	師長 係長	1 1	
12	6階D病棟	31	師長 係長	1 1	
13	精神科病棟	28	師長 係長	1 1	
14	産婦人科・小児科病棟	56	師長 係長	1 2	
16	救急病棟		師長 係長	欠 欠	
17	集中治療室	52	師長 係長	1 欠	
18	緩和ケア病棟	22	師長 係長	欠 1	
19	透析室		師長 係長	欠 欠	
20	夜勤専従		師長 係長	欠 欠	
20	看護教育		師長 係長	1 欠	兼務
21	看護部付	2	師長 係長	1 1	
22					
23					
	看護部計	542			

(4) 中央部門責任体制

	部門名	配置予定	職 名	氏 名	備考
1	薬 劑 部	19	部長	高橋 弘充	
			副部長	1	
			課長	1	兼務調剤課 (事務取扱)
			課長	1	医薬品管理
			係長	1	調剤係
			係長	1	製剤係
			係長	1	麻薬係
2	第1放射線科部	18	部長	大谷 洋一	医師の兼務
			技師長	1	
			課長	1	放射線診断課
			係長	1	放射線診断係
3	第2放射線科部	2	部長	大谷 洋一	医師の兼務
			副部長	1	放科医師の兼務
			課長	1	放射線治療課
			係長	1	放射線治療係
4	検 査 部	28	部長	渡辺 孝之	医師の兼務
			技師長	1	
			課長	1	臨床検査課
			課長	欠	病理検査課
			係長	欠	
			係長	欠	生理学一係
			係長	1	生理学二係
6	病 理 部		部長	欠	
			課長	欠	
			係長	欠	
7	リハビリテーション科部	13	部長	1	医師の兼務
			課長	欠	
			係長	1	リハビリテーション係
8	医 療 技 術 部	26	部長	1	副院長 事務取扱
			課長	欠	医療技術課
			課長	1	栄養課
			係長	1	臨床工学係
			係長	欠	視能訓練係
			係長	欠	歯科衛生・技工係
			係長	欠	臨床心理係
			係長	1	兼務栄養係 事務取扱
			係長	1	調理一係
係長	1	調理二係			
9					
10					
11					
12					
13					
	中央部門計	106			

(5) 管理部門責任体制

	部門名	配置予定	職名	氏名	備考
1	医療社会事業部	19	部長	持松 泰彦	医師の兼務
			副部長	1	医師の兼務
			課長	1	地域医療連携課 (事務取扱)
			課長	欠	医療社会事業課
			課長	1	赤十字事業推進課
			係長	1	地域医療連携係
			係長	欠	医療社会事業係
			係長	欠	災害救護係
			係長	1	健診係
2	事務部	59	部長	岡本 龍太	
			課長	1	医療安全推進課
			課長	1	経営企画課 兼務
			課長	1	総務課
			課長	1	人事課
			課長	1	会計課
			課長	1	調度課
			課長	1	施設課
			課長	1	医療情報課
			課長	1	入院業務課
			課長	1	外来業務課
			係長	欠	安全推進係
			係長	欠	サービス係
			係長	1	企画係 (事務取扱)
			係長	1	総務係
			係長	1	人事係 (事務取扱)
			係長	1	職員係
			係長	欠	経理係
			係長	欠	出納係
			係長	1	調度係
			係長	1	物品管理係
			係長	1	物流係
			係長	欠	施設係
			係長	欠	供給係
			係長	欠	医療情報係
係長	1	入院係			
係長	1	病歴係			
係長	1	外来係			
3					
4					
	管理部計	78			

Ⅱ 施設管理計画書

「 9 医療機器等の整備計画」

(1) 医療機器等の整備計画

9 医療機器等の整備計画

(1) 医療機器等の整備計画（購入予定価格500万円以上）

	部門名	機器名称	用途	新規・更新
1	中央部門	据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	画像診断用	更新

Ⅱ 施設管理計画書

「10 施設管理」

(1) 施設設備改修計画

(2) 施設設備管理計画

10 施設管理

(1) 施設・設備改修計画

(平成21年度分)

	施設・設備名称	用途	新規・修繕
1	旧港湾病院看護師寮跡地	防災備蓄倉庫	新規

(2) 施設・設備管理計画

別紙1、別紙2参照

定期保守業務年間実施報告
(法定及び自主点検業務)

別紙1

建物・設備保守管理		実施回数	実 施 月												関連法規及び保守管理基準
			平成21年(2009年)						平成22年						
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	消防設備等点検業務	2回/年				○						○			消防法
2	ばい煙測定	2回/年			○						○				大気汚染防止法
3	特高受変電設備定期検査	1回/年							○						電気事業法
4	高圧受変電設備定期検査	1回/年								○					電気事業法
5	無停電電源設備保守及び定期点検	1回/年							○						電気事業法
	(非常用照明)	(1回/年)							○				(○)		電気事業法
6	直流電源設備保守及び定期点検	1回/年							○						電気事業法
7	自家用発電設備保守及び定期点検	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	電気事業法
	(非常用発電機)	(2回/年)				○						○			電気事業法
8	中央監視設備保守及び定期点検	1回/年							○						メーカー標準点検
9	昇降機設備保守及び定期検査	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建築基準法
10	ボイラー・圧力容器性能検査及び事前整備	各1回/年			○		○								労働安全衛生法
11	ゴンドラ設備保守及び性能検査	4回/年		○		○				○				○	労働安全衛生法
12	建築設備定期検査	1回/年							○						建築基準法
13	特殊建築物定期検査	1回/年							○						建築基準法
14	簡易専用水道検査	1回/年								○					水道法
15	受水槽・高架水槽定期清掃	1回/年						○							水道法
16	飲料水水質検査	2回/年						○						○	水道法
17	冷却塔設備保守及び水質管理	2回/年						○						○	自主点検
18	吸収式冷凍機定期点検	2回/年		○										○	メーカー標準点検
19	自動ドア保守及び定期点検	2回/年				○						○			メーカー標準点検
20	害虫定期駆除	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ビル管理法
21	厨房グリスフィルター定期清掃業務	4回/年			○			○			○			○	自主管理
22	厨房グリストラップ定期清掃業務	6回/年	○		○		○		○		○		○		自主管理
23	駐車場管制設備保守及び定期点検	2回/年			○						○				メーカー標準点検
24	リニア搬送設備保守及び定期点検	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	メーカー標準点検
25	特定施設	12回/年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	下水道法
26	汚水槽・厨房排水槽清掃	2回/年						○						○	横浜市条例
27	検査系排水処理施設	12回/年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	メーカー標準点検
28	厨房排水処理設備	6回/年		○		○		○		○		○		○	メーカー標準点検
29	地下タンク貯蔵所(竣工後3年以内実施)軽油	1回/年													消防法(21年度実施予定)
30	医療ガス供給設備	4回/年		○			○			○			○		高圧ガス保安法
31	免震装置														1. 3. 5. 10年目実施
32	R1排水処理設備	2回/年											○	○	放射線障害防止法
33	ゴミコンテナ設備	随時													メーカー標準点検
34	オースコール・インターホン設備	2回/年				○						○			メーカー標準点検
35	空調自動制御定期点検	2回/年						○						○	メーカー標準点検
36	機械式駐車場設備	随時													メーカー標準点検
37	電話設備	随時													メーカー標準点検

定期保守業務年間実施報告
(法定及び自主点検業務)

別紙2

その他の保守管理業務	実施回数	実 施 月												関連法規及び保守管理基準
		平成21年(2009年)						平成22年						
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 廃棄物処理業務	随時													廃棄物処理法により処理
2 臓器等処理業務	随時													廃棄物処理法により処理
3 警備業務	随時													院内・敷地内の保安管理
4 施設・設備管理業務	随時													設備等の運転・維持管理
5 一般エリア清掃業務	随時													日常清掃による衛生・感染管理
6 特殊エリア清掃業務	随時													ope室、ICU等の感染管理
7 窓清掃業務	2回/年			○						○				汚れにより適宜行う
8 植栽管理業務	随時													院内・敷地内の適宜管理
9 空調機等フィルター交換	1回/年				○									フィルターの圧力損失により交換
10 // 洗浄	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	汚れが認められたら交換
11 空調用加湿器等フィルター交換	1回/3~5年													メーカー標準
12 ファンコイルユニット用フィルター交換	1回/年													汚れが認められたら交換
13 厨房脱臭剤交換	1回/3~5年													メーカー標準
14 刮検槽清掃業務	随時													汚れにより適宜行う
15 エチレンオキシド環境測定	2回/年	○						○						労働安全衛生法
16 ホルムアルデヒド作業環境測定	2回/年			○					○					労働安全衛生法

「11 経営計画」

- (1) 科別患者数
- (2) 科別患者数 (中期経営計画)
- (3) 科別患者1人当たり収入
- (4) 科別患者1人当たり収入 (中期経営計画)
- (5) 中央部門業務計画
- (6) 損益計算書 (中期経営計画)
- (7) 損益計算書・資本的収支 (中期経営計画)
- (8) 手術件数 (中期経営計画)
- (9) 出産件数 (中期経営計画)

11 経営計画
(1)科別患者数(外来)

		1 外来患者数(実日数243日)											
		来院数				一日平均患者数		救急患者数			内救急車による来院		
		初診患者	再診患者	計	内併診	全体	併診外	時間内	時間外	合計	時間内	時間外	合計
1	内科	5,386	20,689	26,075	2,608	107	97	2,161	2,740	4,901	1,417	1,231	2,647
2	呼吸器科	1,395	10,394	11,789	1,179	48	44	18	484	502	2	164	166
3	消化器科	3,380	15,451	18,831	1,883	77	70	53	1,484	1,537	20	569	589
4	循環器科	1,243	12,818	14,061	1,406	58	52	49	456	506	36	198	233
5	神経内科	938	5,397	6,335	634	26	23	14	348	362	12	275	286
6	アレルギー科	328	2,977	3,305	331	14	12	2	91	93	2	18	20
7	小児科	4,637	11,678	16,315	1,632	67	60	140	3,704	3,845	55	401	456
8	外科	1,195	12,859	14,054	1,405	58	52	20	318	338	4	75	79
9	呼吸器外科	28	998	1,026	103	4	4	4	8	12	2	4	6
10	心臓血管外科	34	642	676	68	3	3	2	0	2	0	0	0
11	脳神経外科	1,413	3,313	4,726	473	19	17	14	709	723	10	425	435
12	整形外科	4,317	16,654	20,971	2,097	86	78	57	1,458	1,515	34	682	715
13	形成外科	909	3,562	4,471	447	18	17	22	427	448	14	158	172
14	皮膚科	2,667	7,946	10,613	1,061	44	39	34	395	429	0	57	57
15	泌尿器科	1,592	13,231	14,823	1,482	61	55	10	563	573	4	170	174
16	産婦人科	1,177	16,402	17,579	1,758	72	65	8	302	310	4	24	28
17	眼科	1,112	10,973	12,085	1,209	50	45	6	6	12	6	0	6
18	耳鼻咽喉科	3,475	13,102	16,577	1,658	68	61	20	693	713	10	251	261
19	リハビリテーション科	32	3,592	3,624	362	15	13	0	0	0	0	0	0
20	精神科	454	5,504	5,958	596	25	22	8	36	43	8	16	24
21	放射線科	1,124	3,479	4,603	460	19	17	0	4	4	0	2	2
22	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	歯科口腔外科	1,229	3,974	5,203	520	27	25	0	36	36	0	8	8
1	ICU												
2	CCU												
3	HCU												
4	救急病棟												
5	緩和ケアセンター												
6	心臓病センター												
7	脳神経センター												
8	呼吸器病センター												
9	アレルギーセンター												
	合計	38,065	195,635	233,700	23,370	966	871	2,641	14,262	16,903	1,638	4,726	6,363

11 経営計画

(1) 科別患者数(入院)

		2 入院患者数 (実日数365日)												
		入院数			一日平均患者数	平均在院日数	病床数	利用率	救急収容数			内救急車による来院		
		新入院	退院	延入院数					時間内	時間外	合計	時間内	時間外	合計
1	内科	1,300	1,338	24,618	67	18.7			620	511	1,131	576	511	1,087
2	呼吸器科	985	933	19,769	54	20.6			56	182	238	48	182	230
3	消化器科	1,151	1,105	17,349	48	15.4			82	263	345	56	263	319
4	循環器科	1,376	1,388	14,555	40	10.5			62	205	267	60	205	265
5	神経内科	411	435	10,198	28	24.1			40	162	202	34	162	196
6	アレルギー科	42	44	253	1	5.9			6	6	12	6	6	12
7	小児科	1,001	1,005	6,201	17	6.2			40	82	122	28	82	110
8	外科	1,388	1,396	21,304	58	15.3			54	74	128	34	74	108
9	呼吸器外科	56	72	708	2	11.1			2	2	4	2	2	4
10	心臓血管外科	72	110	4,088	11	44.9			0	4	4	0	4	4
11	脳神経外科	315	325	7,073	19	22.1			34	122	156	34	122	156
12	整形外科	850	876	17,805	49	20.6			28	154	182	22	154	176
13	形成外科	122	134	1,889	5	14.8			0	8	8	0	8	8
14	皮膚科	150	146	1,171	3	7.9			2	10	12	2	10	12
15	泌尿器科	828	852	8,273	23	9.8			6	22	28	4	22	26
16	産婦人科	778	772	6,490	18	8.4			16	14	30	6	14	20
17	眼科	381	371	1,161	3	3.1			2	0	2	2	0	2
18	耳鼻咽喉科	1,193	1,157	7,691	21	6.5			12	72	84	12	72	84
19	リハビリテーション科	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0
20	精神科	180	191	6,416	18	34.6			50	6	56	40	6	46
21	放射線科	56	40	1,301	4	27.1			4	0	4	4	0	4
22	麻酔科	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0
23	歯科口腔外科	112	114	437	1	3.9			0	0	0	0	0	0
1	ICU													
2	CCU													
3	HCU													
4	救急病棟													
5	緩和ケアセンター													
6	心臓病センター													
7	脳神経センター													
8	呼吸器病センター													
9	アレルギーセンター													
	合計	12,747	12,804	178,750	490	14.0	634	77.3	1,116	1,899	3,015	970	1,899	2,869

11 経営計画

(2)科別患者数(中期経営計画)

入院

区分	年度	日数	内科		呼吸器科		消化器科		循環器科		神経内科		アレルギー科		小児科		外科		呼吸器外科		心臓血管外科		脳神経外科		整形外科	
			患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均
	21	365	24,360	67	18,885	52	17,425	48	14,505	40	11,220	31	365	1	6,205	17	21,440	59	730	2	2,920	8	7,135	20	18,885	52
	22	365	24,360	67	18,885	52	17,425	48	14,505	40	11,220	31	365	1	6,205	17	21,440	59	730	2	2,920	8	7,135	20	18,885	52
	23	365	24,360	67	18,885	52	17,425	48	14,505	40	11,220	31	365	1	6,205	17	21,440	59	730	2	2,920	8	7,135	20	18,885	52
	24	366	24,522	67	19,032	52	17,568	48	14,640	40	11,346	31	366	1	6,222	17	21,594	59	732	2	2,928	8	7,320	20	19,032	52

外来

区分	年度	日数	内科		呼吸器科		消化器科		循環器科		神経内科		アレルギー科		小児科		外科		呼吸器外科		心臓血管外科		脳神経外科		整形外科	
			患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均
	21	242	25,994	107	11,716	48	18,734	77	13,894	57	6,292	26	3,146	13	16,314	67	13,894	57	968	4	726	3	4,698	19	20,912	86
	22	243	26,001	107	11,664	48	18,711	77	13,851	57	6,318	26	3,159	13	16,281	67	13,851	57	972	4	729	3	4,617	19	20,898	86
	23	244	26,108	107	11,712	48	18,788	77	13,908	57	6,344	26	3,172	13	16,348	67	13,908	57	976	4	732	3	4,636	19	20,984	86
	24	245	26,215	107	11,760	48	18,865	77	13,965	57	6,370	26	3,185	13	16,415	67	13,965	57	980	4	735	3	4,655	19	21,070	86

11 経営計画

(2) 科別患者数(中期経営計画)

入院

区分	年度	日数	形成外科		皮膚科		泌尿器科		産婦人科		眼科		耳鼻咽喉科		リハビリテーション科		精神科		放射線科		麻酔科		歯科口腔外科		合計	
			患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均
	21	365	1,825	5	1,095	3	8,395	23	6,570	18	1,095	3	7,665	21	0	0	6,570	18	1,095	3	0	0	365	1	178,750	490
	22	365	1,825	5	1,095	3	8,395	23	6,570	18	1,095	3	7,665	21	0	0	6,570	18	1,095	3	0	0	365	1	178,750	490
	23	365	1,825	5	1,095	3	8,395	23	6,570	18	1,095	3	7,665	21	0	0	6,570	18	1,095	3	0	0	365	1	178,750	490
	24	366	1,830	5	1,098	3	8,418	23	6,588	18	1,098	3	7,686	21	0	0	6,588	18	1,098	3	0	0	366	1	180,072	492

外来

区分	年度	日数	形成外科		皮膚科		泌尿器科		産婦人科		眼科		耳鼻咽喉科		リハビリテーション科		精神科		放射線科		麻酔科		歯科口腔外科		合計	
			患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均
	21	242	4,356	18	10,506	43	14,862	61	17,424	72	11,858	49	16,594	68	3,630	15	5,808	24	4,598	19	0	0	6,776	28	233,700	966
	22	243	4,374	18	10,449	43	14,823	61	17,496	72	11,907	49	16,524	68	3,645	15	5,832	24	4,617	19	0	0	6,804	28	233,523	961
	23	244	4,392	18	10,492	43	14,884	61	17,568	72	11,956	49	16,592	68	3,660	15	5,856	24	4,636	19	0	0	6,832	28	234,484	961
	24	245	4,410	18	10,535	43	14,945	61	17,640	72	12,005	49	16,660	68	3,675	15	5,880	24	4,655	19	0	0	6,860	28	235,445	961

11 経営計画

(3) 患者一人当たり収入分析(科別)外来

		1 外来診療収入															
		初診料	再診料	投薬	注射	処置手術	生理・検体・病理検査等	放射線	指導料	在宅	リハ	入院料	食事	室料	分娩	その他	合計
1	内科	764	547	117	1,700	566	4,578	2,051	242	1,784	0	631	0	0	0	0	12,980
2	呼吸器科	333	604	82	524	32	1,861	2,940	236	3,346	0	688	0	0	0	0	10,645
3	消化器科	619	556	71	1,208	159	6,080	2,542	200	50	0	545	0	0	0	0	12,031
4	循環器科	234	595	43	54	44	5,279	2,042	273	142	0	647	0	0	0	0	9,353
5	神経内科	427	542	23	54	19	3,015	4,452	626	563	0	657	0	0	0	0	10,379
6	アレルギー科	278	616	85	54	10	4,033	462	238	0	0	896	0	0	0	0	6,673
7	小児科	1,504	795	161	67	32	1,619	303	1,551	101	0	1,173	0	0	0	0	7,306
8	外科	209	614	15	6,209	258	3,252	3,906	878	732	0	726	0	0	0	0	16,799
9	呼吸器外科	68	596	2	1,612	108	1,750	8,030	975	0	0	418	0	0	0	0	13,559
10	心臓血管外科	83	596	2	7	0	3,198	5,083	250	53	0	1,036	0	0	0	0	10,307
11	脳神経外科	1,161	510	61	42	754	2,036	7,361	433	8	0	745	0	0	0	0	13,111
12	整形外科	767	583	69	113	751	546	3,475	162	4	285	945	0	0	0	0	7,700
13	形成外科	786	570	135	35	3,787	1,081	648	131	0	0	672	0	0	0	0	7,845
14	皮膚科	704	490	48	41	662	1,203	120	196	2	0	925	0	0	0	0	4,390
15	泌尿器科	363	606	69	4,131	583	2,242	3,928	406	518	0	640	0	0	0	0	13,486
16	産婦人科	74	165	6	419	105	2,608	394	80	0	0	2,416	0	0	0	0	6,267
17	眼科	204	559	7	1	1,290	3,803	140	48	0	1	541	0	0	0	0	6,592
18	耳鼻咽喉科	600	532	34	91	166	3,591	1,442	103	19	0	853	0	0	0	0	7,430
19	リハビリテーション科	20	582	19	37	24	16	378	105	5	1,927	179	0	0	0	0	3,293
20	精神科	168	598	9	17	0	685	783	150	2	3,234	718	0	0	0	0	6,366
21	放射線科	669	470	52	1,057	0	88	6,693	906	0	8,467	175	0	0	0	0	18,578
22	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	歯科口腔外科	648	445	62	16	1,724	454	771	296	0	50	1,473	0	0	0	0	5,939
1	ICU																
2	CCU																
3	HCU																
4	救急病棟																
5	緩和ケアセンター																
6	心臓病センター																
7	脳神経センター																
8	呼吸器病センター																
9	アレルギーセンター																
	合計	553	548	62	1,033	455	2,845	2,170	327	478	304	876	0	0	0	0	9,651

11 経営計画

(3) 患者一人当たり収入分析(科別)入院

		2 入院診療収入															合計	
		初診料	再診料	投薬	注射	処置手術	生理・検体・病理検査等	放射線	指導料	在宅	DPC	リハ	入院料	食事	室料	分娩		その他
1	内科	134	0	341	618	3,010	351	308	204	150	26,743	382	16,868	1,472	2,868	0	229	61,163
2	呼吸器科	60	0	379	475	651	477	169	174	359	29,636	830	3,288	1,305	2,514	0	155	40,472
3	消化器科	104	0	374	142	4,892	730	114	327	62	29,981	262	3,142	1,154	2,738	0	154	44,176
4	循環器科	98	0	975	130	63,960	2,943	115	273	80	33,265	147	8,857	1,559	2,127	0	165	114,694
5	神経内科	71	0	444	294	608	403	183	148	110	29,684	2,816	3,792	1,430	2,719	0	133	42,835
6	アレルギー科	444	0	742	284	40	479	273	554	0	27,096	222	3,373	1,586	1,290	0	49	36,432
7	小児科	312	0	366	256	346	220	21	191	238	23,632	82	20,566	1,111	664	0	112	48,117
8	外科	57	0	259	394	17,538	361	104	339	45	29,943	414	3,307	1,199	2,775	0	129	56,864
9	呼吸器外科	33	0	128	450	50,722	632	143	374	0	26,916	347	2,934	1,604	2,192	0	126	86,601
10	心臓血管外科	13	0	491	626	78,087	982	556	242	160	24,765	561	15,489	1,666	1,650	0	86	125,374
11	脳神経外科	234	0	192	416	15,040	411	1,427	206	33	23,239	3,019	9,406	1,483	2,203	0	208	57,517
12	整形外科	124	0	292	201	25,373	303	271	224	35	19,375	1,469	5,957	1,768	2,585	0	98	58,075
13	形成外科	127	0	260	59	17,383	173	76	122	0	20,053	315	4,712	1,715	406	0	55	45,456
14	皮膚科	172	0	472	0	2,213	207	13	95	175	30,462	182	656	1,659	3,567	0	75	39,948
15	泌尿器科	22	0	473	105	12,553	637	69	242	162	27,104	955	1,905	1,516	3,252	0	94	49,089
16	産婦人科	29	0	36	89	8,202	303	40	144	0	15,619	88	912	785	1,895	31,677	496	60,315
17	眼科	0	0	1,260	0	46,417	0	0	1,237	0	25,629	0	451	1,077	1,885	0	30	77,986
18	耳鼻咽喉科	140	0	1,594	16	9,252	439	45	313	2	29,286	168	1,210	1,530	4,952	0	105	49,052
19	リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	精神科	49	0	949	375	306	835	502	118	0	12	3,055	11,277	1,763	552	0	73	19,866
21	放射線科	9	0	590	190	1,171	197	424	431	10	26,050	9,925	3,062	1,473	7,235	0	76	50,843
22	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	歯科口腔外科	41	0	573	725	17,626	1,080	1,127	560	0	0	181	22,805	1,298	897	0	82	46,995
1	ICU																	
2	CCU																	
3	HCU																	
4	救急病棟																	
5	緩和ケアセンター																	
6	心臓病センター																	
7	脳神経センター																	
8	呼吸器病センター																	
9	アレルギーセンター																	
	合計	100	0	471	308	13,930	646	227	244	108	24,960	918	6,023	1,409	1,750	1,208	156	52,458

11 経営計画

(4) 科別患者1人当たり収入(中期経営計画)

入院

区分 年度	内		科呼吸器科		消化器科		循環器科		神経内科		アレルギー科		小児科		外科	
	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当
21	1,378,767,680	61,163	673,841,720	40,472	675,590,800	44,176	1,498,942,470	114,694	437,773,700	42,835	13,297,680	36,432	298,565,985	48,117	1,112,300,160	56,864
22	1,375,964,760	59,328	702,126,468	39,258	766,385,127	42,851	1,498,942,470	111,253	424,640,489	41,550	12,898,750	35,339	289,609,005	46,673	1,127,431,155	55,158
23	1,375,964,760	59,328	702,126,468	39,258	766,385,127	42,851	1,498,942,470	111,253	424,640,489	41,550	12,898,750	35,339	289,609,005	46,673	1,127,431,155	55,158
24	1,375,964,760	59,328	702,126,468	39,258	766,385,127	42,851	1,498,942,470	111,253	425,803,888	41,550	12,934,089	35,339	290,402,455	46,673	1,130,520,008	55,158

外来

区分 年度	内		科呼吸器科		消化器科		循環器科		神経内科		アレルギー科		小児科		外科	
	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当
21	336,603,612	12,980	124,155,224	10,645	224,686,989	12,031	129,243,163	9,353	65,302,231	10,379	20,992,320	6,673	118,456,278	7,306	231,725,701	16,799
22	337,492,470	12,980	124,166,196	10,645	225,113,382	12,031	129,551,675	9,353	65,572,075	10,379	21,079,065	6,673	118,945,766	7,306	232,683,245	16,799
23	338,881,328	12,980	124,677,168	10,645	226,039,774	12,031	130,084,809	9,353	65,841,919	10,379	21,165,810	6,673	119,435,255	7,306	233,640,789	16,799
24	340,270,186	12,980	125,188,140	10,645	226,966,167	12,031	130,617,943	9,353	66,111,763	10,379	21,252,555	6,673	119,924,744	7,306	234,598,333	16,799

11 経営計画

(4) 科別患者1人当たり収入(中期経営計画)

入院

区分 年度	呼吸器外科		心臓血管外科		脳神経外科		整形外科		形成外科		皮膚科		泌尿器科		産婦人科	
	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当
21	63,218,730	86,601	316,092,080	125,374	356,892,985	57,517	988,671,375	58,075	82,957,200	45,456	43,743,060	39,948	375,263,695	49,089	396,269,550	60,315
22	61,322,168	84,003	355,109,318	121,613	346,186,195	55,791	1,007,511,234	56,333	80,468,484	44,092	42,430,768	38,750	399,739,090	47,616	384,381,464	58,506
23	61,322,168	84,003	355,109,318	121,613	346,186,195	55,791	1,007,511,234	56,333	80,468,484	44,092	42,430,768	38,750	399,739,090	47,616	384,381,464	58,506
24	61,490,174	84,003	356,082,220	121,613	347,134,651	55,791	1,010,271,539	56,333	80,688,946	44,092	42,547,017	38,750	400,834,266	47,616	385,434,563	58,506

外来

区分 年度	呼吸器外科		心臓血管外科		脳神経外科		整形外科		形成外科		皮膚科		泌尿器科		産婦人科	
	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当
21	13,125,073	13,559	7,482,534	10,307	60,282,725	13,111	160,246,808	7,700	34,174,547	7,845	45,684,291	4,390	199,073,243	13,486	109,189,832	6,267
22	13,179,309	13,559	7,513,453	10,307	60,531,827	13,111	160,908,985	7,700	34,315,764	7,845	45,873,069	4,390	199,895,860	13,486	109,641,030	6,267
23	13,233,545	13,559	7,544,373	10,307	60,780,929	13,111	161,571,162	7,700	34,456,981	7,845	46,061,847	4,390	200,718,477	13,486	110,092,227	6,267
24	13,287,780	13,559	7,575,293	10,307	61,030,031	13,111	162,233,339	7,700	34,598,198	7,845	46,250,625	4,390	201,541,093	13,486	110,543,425	6,267

11 経営計画

(4) 科別患者1人当たり収入(中期経営計画)

入院

区分	年度	眼 科		耳 鼻 咽 喉 科		リハビリテーション科		精 神 科		放 射 線 科		麻 酔 科		歯 科 口 腔 外 科		合 計	
		総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当
	21	85,394,670	77,986	375,983,580	49,052	0	0	130,519,620	19,866	55,673,085	50,843	0	0	17,153,175	46,995	9,376,913,000	52,458
	22	82,832,830	75,646	364,704,073	47,580	0	0	126,604,031	19,270	54,002,892	49,318	0	0	16,638,580	45,585	9,519,929,352	50,885
	23	82,832,830	75,646	364,704,073	47,580	0	0	126,604,031	19,270	54,002,892	49,318	0	0	16,638,580	45,585	9,519,929,352	50,885
	24	83,059,769	75,646	365,703,262	47,580	0	0	126,950,892	19,270	54,150,846	49,318	0	0	16,684,165	45,585	9,534,111,572	50,885

外来

区分	年度	眼 科		耳 鼻 咽 喉 科		リハビリテーション科		精 神 科		放 射 線 科		麻 酔 科		歯 科 口 腔 外 科		合 計	
		総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当	総収入	1人当
	21	78,172,449	6,592	122,265,578	7,430	11,953,839	3,293	36,974,699	6,366	85,420,194	18,578	0	0	40,244,672	5,939	2,255,456,000	9,651
	22	78,495,476	6,592	122,770,807	7,430	12,003,235	3,293	37,127,487	6,366	85,773,170	18,578	0	0	40,410,972	5,939	2,263,044,317	9,651
	23	78,818,502	6,592	123,276,037	7,430	12,052,631	3,293	37,280,275	6,366	86,126,146	18,578	0	0	40,577,272	5,939	2,272,357,256	9,651
	24	79,141,529	6,592	123,781,267	7,430	12,102,027	3,293	37,433,063	6,366	86,479,122	18,578	0	0	40,743,573	5,939	2,281,670,196	9,651

(5) 中央部門業務計画（臨床検査部）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
検体検査	一般	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	60,000
	血液	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	150,000
	生化学	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	696,000
	免疫血清	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	54,000
	細菌	2,550	2,550	2,550	2,550	2,550	2,550	2,550	2,550	2,550	2,550	2,550	2,550	30,600
	血液ガス	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	6,600
検体検査合計		83,100	83,100	83,100	83,100	83,100	83,100	83,100	83,100	83,100	83,100	83,100	83,100	972,420
生理検査	心電図	1,770	1,770	1,770	1,770	1,770	1,770	1,770	1,770	1,770	1,770	1,770	1,770	21,240
	脳波	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	480
	呼吸機能	280	280	280	280	280	280	280	280	280	280	280	280	3,360
	超音波	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	13,200
	心カテ	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	1,080
	耳鼻科検査	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	3,840
	筋電図・脈派・その他	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	1,080
生理検査合計		3,690	3,690	3,690	3,690	3,690	3,690	3,690	3,690	3,690	3,690	3,690	3,690	45,828
外部委託検査		42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	563,448
外来採血患者数		3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	47,712
病理検査	組織診断	390	390	390	390	390	390	390	390	390	390	390	390	4,680
	迅速診断	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
	細胞診断	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	3,600
	その他	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
	病理解剖	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	合計		714	714	714	714	714	714	714	714	714	714	714	714

(5) 中央部門業務計画

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
手術室	全身麻酔	240	240	240	240	240	240	240	240	240	240	240	2,880	
	局所麻酔	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	840	
	脊椎麻酔	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	480	
	合計	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	4,200	
輸血	MAP	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	4,800	
	FFP	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	1,440	
	自己血	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	420	
	濃厚血小板	480	480	480	480	480	480	480	480	480	480	480	5,760	
	合計使用量	1,035	1,035	1,035	1,035	1,035	1,035	1,035	1,035	1,035	1,035	1,035	20,304	
	血液型	480	480	480	480	480	480	480	480	480	480	480	5,760	
	交差試験	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	2,400	
	不規則抗体	370	370	370	370	370	370	370	370	370	370	370	4,440	
	その他	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360	
合計	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	13,704		
薬剤部	入院 処方	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	72,000	
	入院 注射	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	90,000	
	外来 処方	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,200	
	外来 時間外処方	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	9,600	
	外来 注射	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	6,000	
	院外処方箋	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	120,000	
	服薬指導	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	8,400	
リハビリ	理学療法	3,100	3,100	3,100	3,100	3,100	2,700	3,100	3,100	2,800	2,800	2,800	3,100	35,900
	作業療法	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,000	1,100	1,100	1,000	1,000	1,000	1,100	12,800
	言語聴覚療法	800	800	800	800	800	700	800	800	700	700	700	800	9,200
	合計	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	4,400	5,000	5,000	4,500	4,500	4,500	5,000	57,900
内視鏡	気管支鏡	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180	
	上部消化管	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	3,600	
	下部消化管	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	1,800	
	ERCP	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180	
	超音波内視鏡	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
	合計	482	482	482	482	482	482	482	482	482	482	482	5,784	
透析	透析	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	1,800	
	血漿交換	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
	合計	151	151	151	151	151	151	151	151	151	151	151	1,812	
栄養課	一般食	30,888	33,325	30,998	25,035	32,571	30,306	30,781	30,875	32,239	31,602	32,583	35,837	377,040
	治療食	9,589	9,260	9,800	7,924	10,367	7,445	8,738	8,560	9,226	8,858	7,955	8,868	106,590
	調乳	377	229	140	127	185	242	217	194	237	150	160	229	2,487
	栄養相談	176	187	194	227	224	154	134	147	145	102	140	165	1,995
	合計	41,030	43,001	41,132	33,313	43,347	38,147	39,870	39,776	41,847	40,712	40,838	45,099	488,112

(5) 中央部門業務計画 (放射線部)

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
X線	胸部撮影	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	42,000
	腹部撮影	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	12,000
	骨部撮影	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	19,800
	その他単純撮影	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	1,020
	血管造影	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	1,440
	消化器造影	190	190	190	190	190	190	190	190	190	190	190	190	2,280
	泌尿器造影	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	960
	透視他造影	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720
	結石破碎	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
	合計	6,697	6,697	6,697	6,697	6,697	6,697	6,697	6,697	6,697	6,697	6,697	6,697	80,364
上記の内数	ポータブル	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	14,400
	骨塩定量	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,200
CT検査	頭頸部	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	7,200
	躯幹部	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	10,800
	合計	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	18,000
MRI検査	頭頸部	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	3,600
	その他	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	6,000
	合計	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	9,600
RI	体外測定	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	1,560
放射線治療	X線	570	570	570	570	570	570	570	570	570	570	570	570	6,840
	電子線	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600
	合計	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620	7,440

11 経営計画
(6) 損益計算書(中期経営計画)

年度		20(予算)	21	増減	増加率%	22	増減	増加率%	23	増減	増加率%	24	増減	増加率%
項目		(A)	(B)	(B)-(A)	(B-A)/A*100	(C)	(C)-(B)	(C-B)/B*100	(D)	(D)-(C)	(D-C)/C*100	(E)	(E)-(D)	(E-D)/D*100
みなと赤十字病院事業収益		12,497,312	12,878,587	381,275	3.1	12,955,115	76,528	0.6	12,961,121	6,006	0.0	12,981,372	20,251	0.2
医療収益		12,369,465	12,634,516	265,051	2.1	12,714,065	79,549	0.6	12,723,378	9,313	0.1	12,746,874	23,496	0.2
診療報酬交付金収益		11,434,312	11,632,369	198,057	1.7	11,782,973	150,604	1.3	11,792,286	9,313	0.1	11,815,782	23,496	0.2
入院分		9,233,181	9,376,913	143,732	1.6	9,519,929	143,016	1.5	9,519,929	0	0.0	9,534,112	14,183	0.1
患者														
延べ数(人)		172,497	178,750	6,253	3.6	178,750	0	0.0	178,750	0	0.0	180,072	1,322	0.7
1日平均(人)		473	490	17	3.6	490	0	0.0	490	0	0.0	492	2	0.4
診療単価(円)		53,527	52,458	-1,069	-2.0	50,885	-1,573	-3.0	50,885	0	0.0	50,885	0	0.0
病床利用率(%)		74.6	77.3	2.7	3.6	77.3	0.0	0.0	77.3	0.0	0.0	77.6	0.3	0.4
平均在院数(日)														
外来分		2,201,131	2,255,456	54,325	2.5	2,263,044	7,588	0.3	2,272,357	9,313	0.4	2,281,670	9,313	0.4
患者														
延べ数(人)		251,860	233,700	-18,160	-7.2	233,523	-177	-0.1	234,484	961	0.4	235,445	961	0.4
1日平均(人)		1,036	966	-70	-6.8	961	-5	-0.5	961	0	0.0	961	0	0.0
診療単価(円)		8,799	9,651	852	9.7	9,651	0	0.0	9,651	0.0	0.0	9,651	0.0	0.0
指定管理料収益		615,000	683,408	68,408	11.1	615,000	-68,408	-10.0	615,000	0	0.0	615,000	0	0.0
室料差額分		420,000	445,178	25,178	6.0	420,000	-25,178	-5.7	420,000	0	0.0	420,000	0	0.0
保健予防活動分		70,000	160,000	90,000	128.6	70,000	-90,000	-56.3	70,000	0	0.0	70,000	0	0.0
文書料分		40,000	40,000	-40,000	-100.0	40,000	40,000	0.0	40,000	0	0.0	40,000	0	0.0
その他医療収益分		85,000	78,230	-6,770	-8.0	85,000	6,770	8.7	85,000	0	0.0	85,000	0	0.0
政策的医療交付金収益		320,153	318,739	-1,414	-0.4	316,092	-2,647	-0.8	316,092	0	0.0	316,092	0	0.0
小児救急医療分		35,229	33,486	-1,743	-4.9	34,449	963	2.9	34,449	0	0.0	34,449	0	0.0
輪番制救急医療分		16,413	16,413	0	0.0	13,124	-3,289	-20.0	13,124	0	0.0	13,124	0	0.0
母児二次救急医療分		2,000	2,000	0	0.0	2,000	0	0.0	2,000	0	0.0	2,000	0	0.0
精神科救急医療分		17,104	17,329	225	1.3	17,113	-216	-1.2	17,113	0	0.0	17,113	0	0.0
精神科合併症医療分		9,196	9,300	104	1.1	9,195	-105	-1.1	9,195	0	0.0	9,195	0	0.0
アレルギー疾患医療分		240,211	240,211	0	0.0	240,211	0	0.0	240,211	0	0.0	240,211	0	0.0
医療外収益		127,847	244,071	116,224	90.9	241,050	-3,021	-1.2	237,743	-3,307	-1.4	234,498	-3,245	-1.4
利子補助		62,847	54,110	-8,737	-13.9	51,089	-3,021	-5.6	47,782	-3,307	-6.5	44,537	-3,245	-6.8
国庫補助金交付金		20,871	20,871	20,871		20,871	0	0.0	20,871	0	0.0	20,871	0	0.0
県補助金交付金		29,090	29,090	29,090		29,090	0	0.0	29,090	0	0.0	29,090	0	0.0
その他		65,000	140,000	75,000	115.4	140,000	0	0.0	140,000	0	0.0	140,000	0	0.0
特別利益		-	-	-		-	-		-	-		-	-	

年度		20(予算)	21	増減	増加率%	22	増減	増加率%	23	増減	増加率%	24	増減	増加率%
項目		(A) 収益比	(B) 収益比	(B)-(A)	(B-A)/A*100	(C) 収益比	(C)-(B)	(C-B)/B*100	(D) 収益比	(D)-(C)	(D-C)/C*100	(E) 収益比	(E)-(D)	(E-D)/D*100
みなと赤十字病院事業費用		13,878,019	13,521,537	107.0	-356,482	-2.6	13,335,684	104.9	-185,853	-1.4	13,258,984	104.2	-76,700	-0.6
医療費用		13,593,019	13,051,080	103.3	-541,939	-4.0	12,910,684	101.5	-140,396	-1.1	12,833,984	100.9	-76,700	-0.6
給与費		6,107,925	6,404,941	50.7	297,016	4.9	6,417,751	50.5	12,810	0.2	6,430,586	50.5	12,836	0.2
職員給料		2,956,239	3,038,814	24.1	82,575	2.8	3,044,892	23.9	6,078	0.2	3,050,981	24.0	6,090	0.2
手当		1,776,567	1,829,793	14.5	53,226	3.0	1,833,453	14.4	3,660	0.2	1,837,119	14.4	3,667	0.2
賃金		385,586	499,205	4.0	113,619	29.5	500,203	3.9	998	0.2	501,204	3.9	1,000	0.2
退職給与金		271,426	300,501	2.4	29,075	10.7	301,102	2.4	601	0.2	301,704	2.4	602	0.2
法定福利費		718,107	736,628	5.8	18,521	2.6	738,101	5.8	1,473	0.2	739,577	5.8	1,476	0.2
材料費		3,805,064	3,106,444	24.6	-698,620	-18.4	3,112,657	24.5	6,213	0.2	3,118,882	24.5	6,225	0.2
薬品費		1,877,462	1,318,299	10.4	-559,163	-29.8	1,320,936	10.4	2,637	0.2	1,323,577	10.4	2,642	0.2
診療材料費		1,770,942	1,638,842	13.0	-132,100	-7.5	1,642,120	12.9	3,278	0.2	1,645,404	12.9	3,284	0.2
給食材料費		107,750	98,980	0.8	-8,770	-8.1	99,178	0.8	198	0.2	99,376	0.8	198	0.2
医療消耗品費		48,910	50,323	0.4	1,413	2.9	50,424	0.4	101	0.2	50,524	0.4	101	0.2
経費		2,213,093	2,343,276	18.5	130,183	5.9	2,347,963	18.5	4,687	0.2	2,352,658	18.5	4,696	0.2
光熱水費		344,277	363,812	2.9	19,535	5.7	364,540	2.9	728	0.2	365,269	2.9	729	0.2
修繕費		53,575	120,801	1.0	67,226	125.5	121,043	1.0	242	0.2	121,285	1.0	242	0.2
賃借料		133,964	166,080	1.3	32,116	24.0	166,412	1.3	332	0.2	166,745	1.3	333	0.2
委託料		1,465,696	1,463,235	11.6	-2,461	-0.2	1,466,161	11.5	2,926	0.2	1,469,094	11.5	2,932	0.2
その他		215,581	229,348	1.8	13,767	6.4	229,807	1.8	459	0.2	230,266	1.8	460	0.2
研究研修費		28,315	49,300	0.4	20,985	74.1	28,428	0.2	-20,872	-42.3	28,485	0.2	57	0.2
減価償却費等		829,622	520,815	4.1	-308,807	-37.2	377,582	3.0	-143,233	-27.5	277,068	2.2	-100,514	-26.6
指定管理者負担金		609,000	626,304	5.0	17,304	3.0	626,304	4.9	0	0.0	626,304	4.9	0	0.0
医療外費用		285,000	285,000	0	0	0.0	285,000	0	0	0.0	285,000	0	0	0.0
支払利息及び諸費		80,000	104,149	0	24,149	30.2	100,000	0	-4,149	-4.0	100,000	0	0	0.0
繰延勘定償却		0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
患者外給食材料費		45,000	4,916	-40,084	-89.1	5,000	84	1.7	5,000	0	0.0	5,000	0	0.0
その他		160,000	137,921	-22,079	-13.8	140,000	2,079	1.5	140,000	0	0.0	140,000	0	0.0
雑損失		0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
控除対象外消費税		0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
その他		0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
医療社会事業費用		0	135,457	0	0	0.0	140,000	4,543	3.4	140,000	0	140,000	0	0.0
給与費		0	116,935	0	0	0.0	120,000	3,065	2.6	120,000	0	120,000	0	0.0
事務費		0	18,522	0	0	0.0	20,000	1,478	8.0	20,000	0	20,000	0	0.0
特別損失		0	50,000	0	50,000	0	0	-50,000	-100.0	0	0	0	0	0.0

* 収益比とは、各費用の対医療収益比率のことで、(各費用)/(負担金を除く医療収益)で算出。

経常損益	-1,380,707	-642,950	737,757	-53.4	-380,569	262,381	-40.8	-297,863	82,706	-21.7	-226,596	71,267	-23.9
医療損益	-1,223,554	-416,564	806,990	-66.0	-196,619	219,945	-52.8	-110,606	86,013	-43.7	-36,094	74,512	-67.4
純損益	-1,380,707	-642,950	737,757	-53.4	-380,569	262,381	-40.8	-297,863	82,706	-21.7	-226,596	71,267	-23.9

11 経営計画

(7) 損益計算書資本的(中期経営計画)

	20 (A)	21 (B)	増 減 (B) - (A)	増加率% (B-A)/A*100	22 (C)	増 減 (C) - (B)	増加率% (C-B)/B*100	23 (D)	増 減 (D) - (C)	増加率% (D-C)/C*100
みなと赤十字病院事業資本的取	1,000,000	411,796	-588,204	-58.8	806,701	394,905	-67.1	810,817	0	0.0
資本的収入	1,000,000	411,796	-588,204	-58.8	806,701	0	0.0	810,817	0	
固定負債	550,000	235,200	-314,800	-57.2	235,200	0	0.0	235,200	0	
長期前受補助金		60,779	60,779		60,000			60,000		
その他資本収入	450,000	115,817	-334,183	-74.3	511,501	0	0.0	515,617	0	

みなと赤十字病院事業資本的支	1,000,000	411,796	-588,204	-58.8	806,701	0	0.0	810,817	0	
資本的支出	1,000,000	411,796	-588,204	-58.8	806,701	0	0.0	810,817	0	
固定資産	600,000	128,906	-471,094	-78.5	520,000	0	0.0	520,000	0	
借入金等償還	400,000	235,200	-164,800	-41.2	235,200	0	0.0	235,200	0	
リース未払金	0	47,690	47,690		51,501	3,811	8.0	55,617	4,116	108.0

(8) 手術件数(中期経営計画)

	部門名	21	22
1	内 科	0	0
2	呼 吸 器 科	0	0
3	消 化 器 科	0	0
4	循 環 器 科	0	0
5	神 経 内 科	0	0
6	ア レ ル ギ ー 科	0	0
7	小 児 科	0	0
8	外 科	830	830
9	呼 吸 器 外 科	124	124
10	心 臓 血 管 外 科	131	131
11	脳 神 経 外 科	132	132
12	整 形 外 科	657	657
13	形 成 外 科	279	279
14	皮 膚 科	377	377
15	泌 尿 器 科	491	491
16	産 婦 人 科	279	279
17	眼 科	261	261
18	耳 鼻 咽 喉 科	169	169
19	リハビリテーション科	0	0
20	精 神 科	0	0
21	放 射 線 科	0	0
22	麻 酔 科	0	0
23	歯 科 口 腔 外 科	45	45
	計	3,775	3,775

(9) 出産件数 (中期経営計画)

		21	22
1	出 産 件 数	520	520